

TASCAM

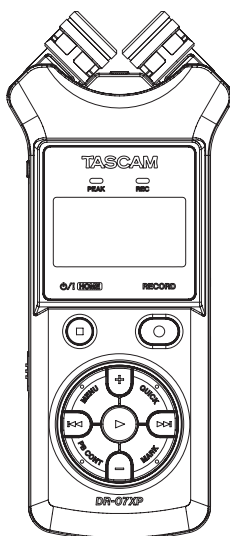
D01440201B

DR-07XP

Linear PCM Recorder

取扱説明書

V1.10



本機で録音、再生を行うために以下の品目が必要です。

ご使用の用途に合わせて、別途お買い求めください。

- microSD カード
- 単 3 形電池 (2 本)



本機にて動作が確認された microSD カードのリストが TASCAM のウェブサイトに掲載されています。

<https://tascam.jp/jp/product/dr-07xp/support#Compatibility>

また取扱説明書も、上記 URL の TASCAM のウェブサイトからダウンロードすることができます。

目次

1. はじめに	4	4-7. モニター用機器を接続する	35
1-1. 本製品の構成	4	4-8. 内蔵ステレオマイクについて	36
1-2. 本機の特徴	5	広がりのあるステレオ録音設定をする (A-B ポジション)	36
1-3. 本書の表記	6	クリアなステレオ録音設定をする (X-Y ポジション)	36
1-4. 商標および著作権に関して	6	4-9. 内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える	37
1-5. 別売品	8	マイク位置検出について	37
microSD カードについて	8	5. 録音	38
電池について	9	5-1. 録音形式／サンプリングレート／チャンネル ／録音サイズを設定する	38
AC アダプター (PS-P520U) について	9	5-2. ファイルの保存先を設定する	40
USB ケーブル (通信用またはデータ転送用) について	9	5-3. 入力の設定をする	41
2. クイックスタートガイド	10	5-4. 設置または接続をする	42
2-1. 準備をする	10	内蔵ステレオマイクで録音する	42
microSD カード (別売) を挿入する	10	外部マイクで録音する	42
電池 (別売) をセットする	10	外部機器から録音する	42
電源をオンにする	10	5-5. 入力レベルを調節する	43
初期設定をする	11	手動で入力レベルを調節する	43
2-2. 録音する	12	レベルモード機能を使う	44
内蔵マイクでの録音方法	12	5-6. 録音する	46
2-3. 再生する	13	5-7. 再生音に入力音を重ねて録音する (オーバー ダビング)	47
3. 各部の名称と働き	14	入力音を重ねるファイルを選択する	47
3-1. トップパネル	14	録音形式を設定する	47
各操作ボタン (1)	15	オーバーダビングモードにする	48
各操作ボタン (2)	16	入力レベルを調節する	49
3-2. フロントパネル	17	オーバーダビングを実行する	49
3-3. リアパネル	17	5-8. 録音機能を自動で動作させる (自動録音)	50
3-4. 左サイドパネル	18	5-9. 録音中にファイルを切り換えて録音を続ける (トラックインクリメント)	51
3-5. 右サイドパネル	18	録音中に手動でトラックインクリメントする	51
3-6. ボトムパネル	19	ファイルサイズで自動的にトラックインク リメントする	51
3-7. ホーム画面	20	5-10. 録音開始の少し前から録音する (事前録音)	52
3-8. 録音画面	22	5-11. セルフタイマー機能	53
3-9. 再生コントロール画面	23	5-12. トーン出力を使う	54
3-10. メニューを使う	24	トーン出力を設定する	54
3-11. 操作の基本	25	トーン出力の長さを設定する	55
3-12. メニューの構成	26	トーン出力の音量を調節する	55
4. 準備	28	5-13. 録音時間について	56
4-1. 電源の準備	28	6. ファイルやフォルダーの操作 (ファイル／フォルダー 画面)	57
単 3 形電池で使用する	28	6-1. ファイル／フォルダー画面を表示する	57
AC アダプターで使用する (別売)	28	6-2. ファイル／フォルダー画面内のナビゲーション	57
USB バスパワーで駆動する	29	6-3. ファイル／フォルダー画面内のアイコン表示	58
4-2. 電源をオンにする／オフにする	30	6-4. ファイル操作	58
電源をオンにする	30	6-5. フォルダ操作	59
最初に電源をオンにしたときの設定	30	6-6. 新しいフォルダーを作る	59
電源をオフにする	31	7. 再生	60
リジューム機能	31	7-1. 再生の音量を調節する	60
4-3. 日時を設定する	32	7-2. 再生範囲を設定する (再生対象)	61
4-4. microSD カード (別売) を挿入する／取り出す	33		
挿入する	33		
取り出す	33		
4-5. microSD カード (別売) を使えるようにする	33		
4-6. 内蔵スピーカーで再生する	34		

7-3.	ファイル/フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (1).....62	11.エフェクター.....85
7-4.	ファイル/フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (2).....63	11-1. エフェクターを設定する.....85
7-5.	再生リスト.....64	エフェクターのプリセット一覧.....85
	再生リストに登録する.....64	12.楽器をチューニングする (チューナー).....86
	再生リストを編集する.....65	12-1. チューナーを使う.....86
7-6.	再生するファイルを選択する (スキップ).....66	チューナーを設定する.....86
7-7.	再生する.....66	チューニングする.....87
	一時停止する.....66	チューニングの入力レベルを調節する.....87
	停止する.....66	13.USB 接続.....88
	早戻し/早送りを (サーチ).....66	13-1. USB バスパワーにより電源を供給する.....88
7-8.	繰り返し再生する (リピート).....67	13-2. SD カードリーダーとして使用する.....89
7-9.	特殊な再生 (再生コントロール機能).....68	13-3. パソコンとの接続を解除する.....90
	再生コントロール機能の設定.....68	13-4. パソコンからファイルを取り込む.....90
	指定した区間を繰り返し再生する (ループ再生).....68	13-5. USB オーディオインターフェースとして使用する.....91
	再生速度を変える (VSA 機能).....69	オーディオ I / F 画面を表示する.....91
7-10.	再生音質を選択する.....70	接続先を設定する.....92
7-11.	音圧感を上げて聴き取りやすくする (出力音量補正機能).....71	接続する.....92
7-12.	ジャンプ機能を使う.....72	14.各種設定および情報表示.....93
	ジャンプバック機能の戻り時間を設定する.....73	14-1. 情報を見る (インフォメーション).....93
	ジャンプフォワード機能の送り時間を設定する.....74	ファイル情報ページ (FILE).....93
8.クイック操作.....75	カード情報ページ (CARD).....94	システム情報ページ (SYSTEM).....94
8-1.	QUICK ボタンの概要.....75	14-2. 環境設定 (システム設定).....95
8-2.	クイックメニュー画面.....76	電源の自動電源制御設定.....95
8-3.	選択ファイルを削除する.....76	バックライトの設定.....95
8-4.	選択ファイルを分割する (ファイル分割).....77	画面の濃さ調節.....96
8-5.	上書き録音する (オーバーライト録音).....78	電池の種類の設定.....96
	上書き録音をするファイルを選択する.....78	言語を設定する.....97
	上書き録音モードにする.....78	初期設定に戻す.....98
	上書き録音する.....78	microSD カードを初期化する.....98
	録音結果を確認する.....78	microSD カードを完全初期化する.....99
	取り消す (UNDO) / やり直す (REDO).....78	14-3. ファイル名の形式を設定する.....100
	上書き録音モードを終了する.....78	14-4. 二次元コードで取扱説明書のページにアクセスする.....101
8-6.	録音ファイルを書き起こす (文字起こし再生).....79	15.メッセージ.....102
	文字起こし再生モードにする.....79	16.トラブルシューティング.....104
	再生音質の調節.....79	17.仕様.....105
	再生位置の変更.....79	17-1. 定格.....105
	再生音量、再生スピードの変更.....79	17-2. 入出力定格.....105
	文字起こし再生モードを終了する.....80	アナログオーディオ入出力定格.....105
9.タイマー録音機能.....81	コントロール入出力定格.....106	17-3. オーディオ性能.....106
9-1.	タイマー録音の時刻を設定する.....81	17-4. 一般.....106
9-2.	タイマー録音機能をオンにする.....82	17-5. 寸法図.....108
10.マーク機能.....84	18.FW バージョンアップによる変更内容.....109	18-1. ファームウェア V1.10 について.....109
10-1.	手動でマークを付ける.....84	録音開始動作選択機能 (録音スタート).....109
10-2.	録音中に自動でマークを付ける.....84	最新録音ファイル表示.....110
10-3.	マークの位置へ移動する.....84	録音状態表示アイコン.....110
10-4.	マークの削除.....84	

1.はじめに

このたびは、TASCAM DR-07XP をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管してください。

1-1. 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本体 × 1

セーフティガイド（保証書付） × 1

TASCAM ID 登録ガイド × 1

取扱説明書は、TASCAM のウェブサイトからダウンロードすることができます。



<https://tascam.jp/jp/product/dr-07xp/support#Manuals>

1-2. 本機の特徴

- 記録メディアに microSD / microSDHC / microSDXC カードを採用したコンパクトサイズのオーディオレコーダー
- 高性能な指向性ステレオマイクを搭載
- マイクの開閉により音質の異なるステレオ録音が可能
閉じた状態：位相差を抑えたクリアなステレオ録音
開いた状態：広がりのあるステレオ録音
- 44.1/48/96 kHz、32-bit Float および 16-bit/24-bit リニア PCM (WAV 形式) 録音が可能
- WAV ファイルは BWF 形式に対応
- 32 ~ 320 kbps の MP3 形式での録音が可能 (ID3 tag v2.4 対応)
- 再生音に入力信号をミックスして別ファイルとして録音することが可能なオーバーダビング機能
- 0.3 W モノラル出力のスピーカー内蔵
- 録音時または再生時に使用可能な内蔵エフェクター (リバーブ) を搭載
- 音声の入力レベルを感知して、自動で録音の開始が行える自動録音機能
- 録音を継続したまま、あらかじめ設定した最大ファイルサイズによって、自動的に新たなファイルに記録を開始することが可能 (ファイルインクリメント機能)
- 状態に応じて、必要な機能にすばやくアクセスするための QUICK ボタン搭載
- 録音を継続したまま、任意の位置でファイルを更新できるトラックインクリメント機能
- 録音開始 2 秒前からの音を録音できる事前録音機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、適度なレベルに自動的に抑制する自動ピーク低減機能
- 大きい音は小さく、小さい音は大きくして常に最適なレベルで録音できる自動レベル調整機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、その部分だけ適度なレベルに自動的に調節するリミッター機能
- 低域ノイズの低減に便利な低域カットフィルター
- 音程を変えずに再生速度を 0.5 倍から 2.0 倍まで (0.1 倍単位) 可変できる VSA 機能
- リピート再生機能およびイン-アウトループ再生機能
- 再生速度、イン-アウトループの設定を行う画面を表示する PB CONT ボタン搭載
- 楽器の音程を合わせるためのチューナー機能
- 指定時間後に録音を開始するセルフタイマー機能
- 設定した時刻に起動して録音開始 / 停止ができるタイマー録音
- 再生中または一時停止中に少しだけ戻す、もしくは少しだけ送る (文字起こし再生モードのみ) ジャンプ機能
- 再生リスト機能
- 録音後に任意の位置でファイルを分割するファイル分割機能 (WAV ファイルのみ)
- 特定の位置への移動に役立つマーク機能
- 再生イコライザー機能および、再生全体の音圧感を上げる出力音量補正機能
- ファイル名の形式をユーザーワードまたは日付のどちらかに設定可能
- 電源をオフにする前の再生位置を記憶しておくリジューム機能
- 外部ステレオマイク入力 (プラグインパワー対応) またはステレオ外部入力用の 3.5 mm (1/8") 端子
- 3.5 mm (1/8") ライン出力 / ヘッドホン出力端子
- 128 x 64 のバックライト付きドットマトリックスタイプ LCD
- USB Type-C 端子 (ケーブルは別売) を装備
- 単 3 形電池 2 本 (別売)、AC アダプター (別売: TASCAM PS-P520U) または USB バスパワー駆動
- 本体に三脚取り付け用穴を装備
- USB オーディオインターフェース機能を搭載
- 文字起こし再生モードを搭載
- 上書き録音機能を搭載

1. はじめに

1-3. 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 「microSD/microSDHC/microSDXC メモリーカード」のことを「microSD カード」と表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を“DR-07XP”のように“_”で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

1-4. 商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。



その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。したがって、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

1. はじめに

1-5. 別売品

本製品には、以下の品目は含まれておりません。
ご使用の用途に合わせて、必要なものを別途お買い求めください。

- microSD カード
- 単3形電池2本
- AC アダプター (TASCAM PS-P520U)
- USB ケーブル (通信用またはデータ転送用)

microSD カードについて

本機では、microSD カードを使って録音や再生を行います。本機にて動作が確認された microSD カードのリストが、TASCAM のウェブサイトに掲載されています。もしくは、タスクカスタマーサポートまでお問い合わせください。



<https://tascam.jp/product/dr-07xp/support#Compatibility>

取り扱い上の注意

microSD カードは、精密にできています。microSD カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点ご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

microSD カードのフォーマットについて

本機でフォーマットされた microSD カードは、録音時の性能向上のために最適化されています。そのため、本機で使用する microSD カードは本機でフォーマットを行ってください。

電池について

本機を電池で動作させる場合は、電池を2本ご用意ください。

電池は、単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素電池を使用することができます。

ACアダプター (PS-P520U) について

本機をAC電源で動作させる場合は、別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520U) をご用意ください。

メモ

本機には、ACアダプターを使用して充電電池を充電する機能はありません。

USBケーブル (通信用またはデータ転送用) について

本機とパソコン (Windows/Mac) やスマートフォンを接続する場合は、別途USBケーブル (USB-IF認証品を推奨) が必要です。

本機はUSB Type-C端子を装備しています。

お使いのパソコンやスマートフォンのUSB端子に合ったUSBケーブルをご用意ください。

メモ

充電用USBケーブルは使用できません。

Lightning端子を搭載するiOSデバイスと接続する場合

Apple純正Lightning - USBカメラアダプタと市販のType-A - Type-Cケーブルが必要です。

USB Type-C端子を搭載するパソコンやスマートフォンと接続する場合

市販のType-C - Type-Cケーブルが必要です。

USB micro-B端子を搭載するスマートフォンと接続する場合

市販のmicro-B - Type-Cケーブルが必要です。

USB Type-A端子を搭載するパソコンと接続する場合

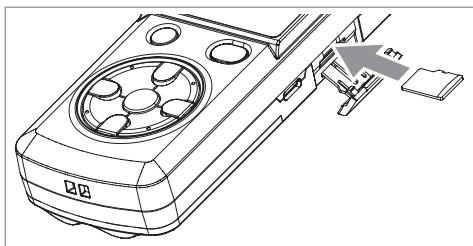
市販のType-A - Type-Cケーブルが必要です。

2. クイックスタートガイド

電源に電池を使用し、録音から再生までの基本的手順について説明します。

2-1. 準備をする

microSD カード (別売) を挿入する



製品側面のカバーを開け、microSD カード (別売) を挿入する。

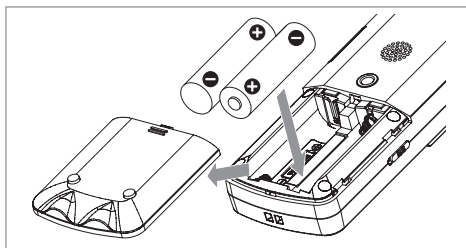
メモ

TASCAM のウェブサイトには、当社で動作確認済みの microSD カードのリストが掲載されています。



<https://tascam.jp/jp/product/dr-07xp/support#Compatibility>

電池 (別売) をセットする

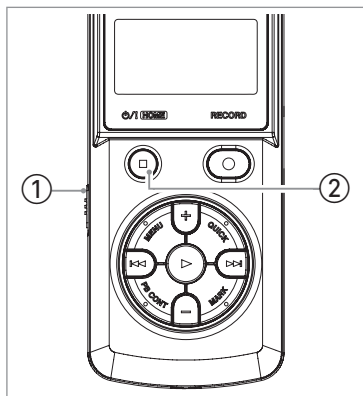


製品背面の電池ケースに、単三型電池 (別売) を 2 本セットする。

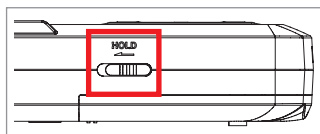
メモ

- 残量が十分ある電池をお使いください。
- 単三型電池以外の AC アダプターや USB バスパワーでの使用については、28 ページ「電源の準備」を参照してください。

電源をオンにする



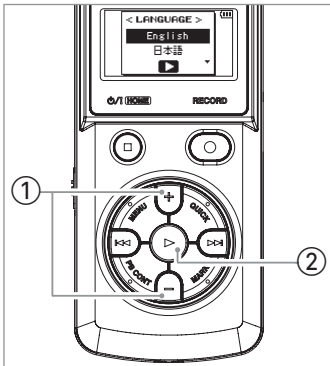
- ① 製品側面の HOLD スイッチが右側 (矢印と反対の方向) にセットされていることを確認する。(HOLD 解除)



- ② 0/1 (HOME) [■] ボタンを押し続け、TASCAM DR-07XP (起動画面) が表示されたら離す。

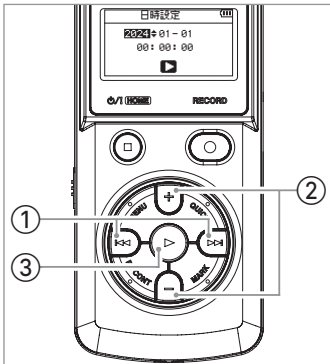
初期設定をする

言語の設定



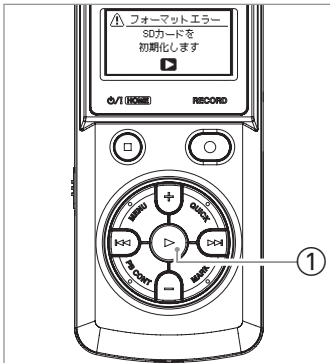
- ① + / - ボタンで言語を選択する。
- ② ▶ ボタンを押して確定する。

日時の設定



- ① ◀◀ / ▶▶ ボタンでカーソルを移動させる。
- ② + / - ボタンで値を変更する。
- ③ ▶ ボタンを押して確定する。

microSD カードの初期化



- ① 初期化する microSD カードを確認し、▶ ボタンを押して確定する。

microSD カードの初期化が開始されます。

注意

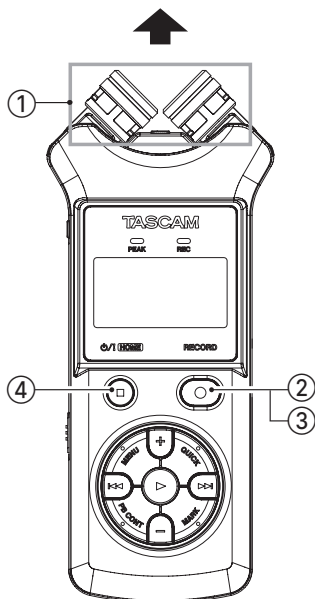
microSD カードの初期化を行うと、microSD カード上のデータは全て失われます。

初期化が終了するとホーム画面が表示されます。

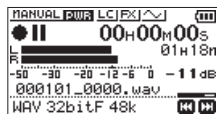
2. クイックスタートガイド

2-2. 録音する

内蔵マイクでの録音方法



- ① 内蔵マイクを音源の正面に向ける。
- ② RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にする。



録音待機状態の画面

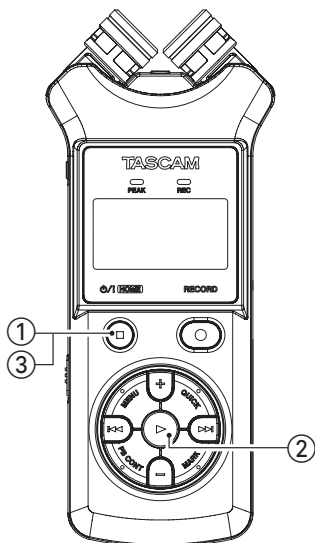
- ③ 再度 RECORD [●] ボタン、または ▶ ボタンを押して録音を開始する。
- ④ 電源/ (HOME) [■] ボタンを押して、録音を終了する。

メモ

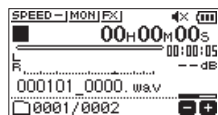
- 録音レベル調整、低域カット、リミッターなどの各種録音設定や詳細については、38 ページ「録音」を参照してください。
- 外部マイクや外部機器を使用した録音方法については、42 ページ「外部マイクで録音する」、42 ページ「外部機器から録音する」を参照してください。

2-3. 再生する

内蔵スピーカーでの再生方法



- ① 冫/ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面を表示する。



ホーム画面

- ② ホーム画面で ▶ ボタンを押す。
製品背面の内蔵スピーカーから最新ファイルの再生が開始されます。
- ③ 一時停止は、再生中に 冫/ (HOME) [■] ボタンを押す。

メモ

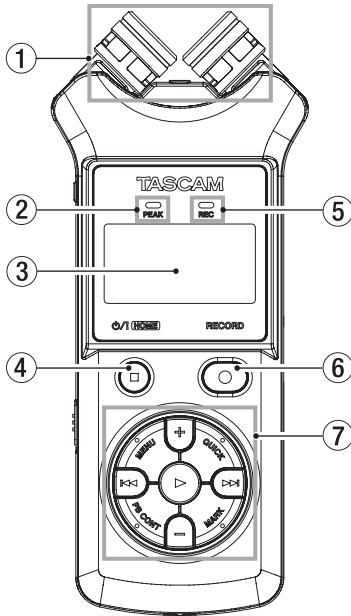
- 音量の調整、再生ファイルの選択などの再生設定や詳細については、60 ページ「再生」を参照してください。
- ヘッドホンや外部モニターシステムを使用した再生方法については、35 ページ「モニター用機器を接続する」を参照してください。

再生音が聴こえないとき

- 再生音量を上げてください。
- スピーカー設定をオンにしてください。
- オーバーダビングをオフにしてください。
- 再生音のレベルメーターが半分以上振れるように録音してください。
- 設定初期化してください。

3.各部の名称と働き

3-1. トップパネル



⑤ REC インジケーター

- 録音待機中は、インジケーターが点滅します。
- 録音を開始するとインジケーターが点灯します。

⑥ RECORD [●] ボタン

- 停止中に押すと録音待機状態になり、REC インジケーターが点滅します。
- 録音待機中に押すと録音が始まり、REC インジケーターが点灯します。
- 録音中に押すと、録音一時停止になります。

⑦ 各操作ボタン

詳細は、15 ページ「各操作ボタン (1)」と 16 ページ「各操作ボタン (2)」を参照してください。

① 内蔵ステレオマイク

エレクトレットコンデンサタイプの指向性ステレオマイクです。マイクは、両方のマイクを開いた状態 (A-B)、閉じた状態 (X-Y) の 2 つの状態にすることができます。

② PEAK インジケーター

録音する音のレベルが歪む直前に赤く点灯します。

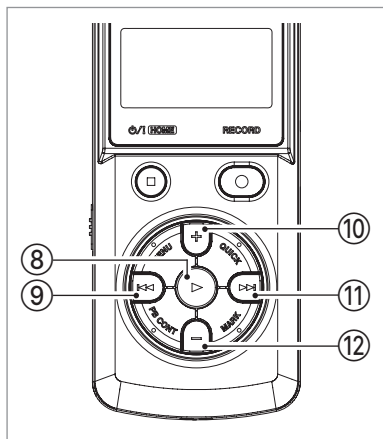
③ ディスプレー

各種情報を表示します。

④ 冫/I (HOME) [■] ボタン

- 長く押すと、電源のオン/オフの切り換えを行います。
- 再生中にこのボタンを押すと、その位置で再生を停止します (一時停止)。
- 一時停止中にこのボタンを押すと、そのファイルの先頭に戻ります。
- 録音待機中または録音中にこのボタンを押すと、録音を停止します。
- 各種設定画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

各操作ボタン (1)



⑧ ▶ ボタン

- ホーム画面で停止中に押すと、再生を開始します。
- 再生中に押すと、戻り再生を行います。
- ファイル／フォルダー画面で、ファイルまたはフォルダーを選択した状態でこのボタンを押すと、ホーム画面に戻り、そのファイルまたはフォルダーの最初から再生します。
- 録音中に押すと、録音を一時停止します。
- 録音待機中に押すと、録音を開始します。

⑨ ◀◀ ボタン

- 再生中、またはファイルの途中で停止しているときにこのボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。
- 現在位置からファイルの先頭の間にイン点（ループ再生の始点）およびアウト点（終点）が設定されているときには、イン点（始点）またはアウト点（終点）に移動します。
- ファイルの先頭で停止しているときに押すと、手前のファイルにスキップします。
- 押し続けると早戻しサーチを行います。
- MARK ボタンを押しながらこのボタンを押すと、前のマークに移動します。
- 各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを左に移動します。また、各種設定画面の操作では、確認のポップアップメッセージに対して「いいえ」と答えるときに使います。
- ファイル／フォルダー画面では、階層を戻ります。

- 録音待機中または録音中に押すと、内蔵ステレオマイクまたはリアパネルの MIC/EXT IN 端子からの入力音の入力レベルを小さくします。

⑩ + ボタン

- ホーム画面およびチューナー画面を表示中にこのボタンを押すと、内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT 端子から出力される音量を大きくします。
- 再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、再生速度を早くします。
- 各種設定画面での操作時、項目を選択または選択肢／値を変更するときに使います。

⑪ ▶▶ ボタン

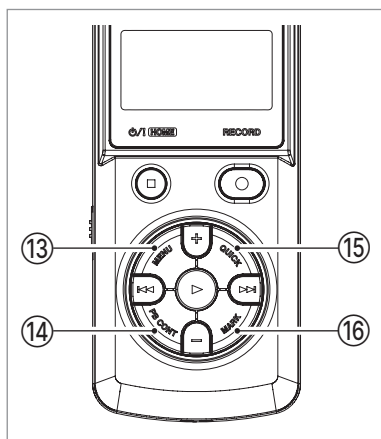
- 停止中または再生中にこのボタンを押すと、次のファイルにスキップします。
- 現在位置から曲の先頭の間にイン点（ループ再生の始点）およびアウト点（終点）が設定されているときには、イン点（始点）またはアウト点（終点）に移動します。
- 押し続けると早送りサーチを行います。
- 各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを右に移動します。また、各種設定画面の操作では、選択されている項目を決定する、または確認のポップアップメッセージに対して「はい」と答えるときに使います。
- MARK ボタンを押しながらこのボタンを押すと、次のマークに移動します。
- ファイル／フォルダー画面では、階層を進みます。ファイルが選択されているときは、ファイルをロードしてホーム画面に戻り停止します。
- 録音待機中または録音中に押すと、内蔵ステレオマイクまたはリアパネルの MIC/EXT IN 端子からの入力音の入力レベルを大きくします。

⑫ - ボタン

- ホーム画面およびチューナー画面を表示中にこのボタンを押すと、内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT 端子から出力される音量を小さくします。
- 再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、再生速度を遅くします。
- 各種設定画面での操作時、項目を選択または選択肢／値を変更するときに使います。

3. 各部の名称と働き

各操作ボタン (2)



⑮ QUICK ボタン

- ホーム画面で停止中／一時停止中／再生中／録音待機中、および再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、クイックメニュー画面を表示します。ボタンを押したときの本機の状態で、表示される機能が異なります。

本機の状態	表示される機能
停止中	現在のファイルの削除、分割、出力音量補正機能
再生中／再生コントロール画面	出力音量補正機能
録音待機中	レベルモード機能

- 録音中に押すと、トラックインクリメントします。
- ファイル／フォルダー画面および再生リスト画面を表示中にこのボタンを押すと、ファイル／フォルダー操作のポップアップメニューを表示／非表示します。

⑯ MARK ボタン

- 録音中／再生中に手動でマークを付けるときに使用します。
- マーク位置で停止中に押すと、マークを削除します。
- このボタンを押しながら、**◀◀** ボタンを押すと前のマークに、**▶▶** ボタンを押すと次のマークへ移動します。また、再生コントロール画面表示中に、希望の区間をループ再生させるときのイン点（始点）とアウト点（終点）を設定します。
- イン点（始点）とアウト点（終点）が設定されているときに、このボタンを押すと、イン点（始点）とアウト点（終点）がクリアされます。

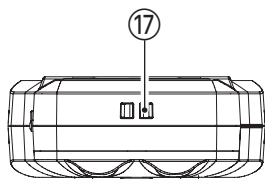
⑬ MENU ボタン

- ホーム画面表示中にこのボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。各種設定画面を表示中に、このボタンを押したときも、メニュー画面に戻ります。
- 再生コントロール画面でイン点（ループ再生の始点）およびアウト点（終点）が設定されているときにこのボタンを押すと、ループ再生のオン／オフを切り換えます。

⑭ PB CONT (Play Back Control) ボタン

- このボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。
- 再生コントロール画面表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。
- 録音待機中にこのボタンを押すと、セルフタイマー機能のオフ、時間の切り換えをします。

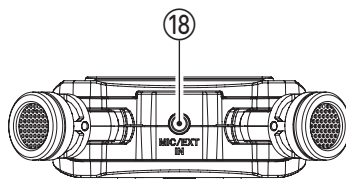
3-2. フロントパネル



⑰ **ストラップホルダー**

ストラップを取り付けます。

3-3. リアパネル

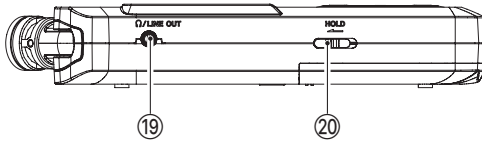


⑱ **MIC/EXT IN 端子**

- ステレオミニジャックの外部マイク入力または外部入力端子です。プラグインパワーに対応しています。
- MIC/EXT IN 端子に接続された外部マイクが内蔵ステレオマイクよりも優先されます。

3. 各部の名称と働き

3-4. 左サイドパネル



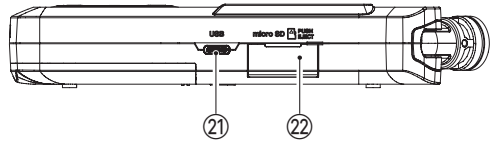
①9 Ω/LINE OUT 端子

ヘッドホンまたはステレオミニプラグケーブルを使用して外部機器のライン入力端子と接続します。

②0 HOLD スイッチ

左側にセット（矢印の方向に移動）するとホールド機能が働きます。ホールド中は、全てのボタン操作を受け付けません。

3-5. 右サイドパネル



②1 USB 端子

Type-C 端子の USB ポートです。USB ケーブルを使って、パソコンと接続することができます。（→ 88 ページ「USB 接続」）

注意

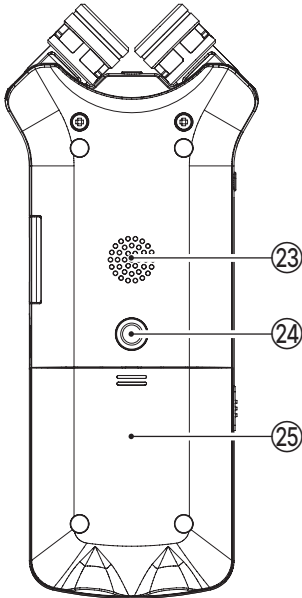
- パソコンとの接続は、USB ハブを経由せずに直接接続してください。
- USB ケーブルはデータ転送用または通信用を使用してください。

②2 microSD カードスロット

microSD カードの挿入／取り出しをします。microSD カードは動作確認済みメディアを使用してください。

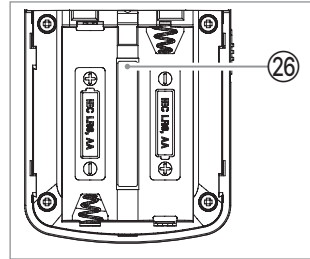
<https://tascam.jp/jp/product/dr-07xp/support#Compatibility>

3-6. ボトムパネル



②⑥ 電池ケース

本機の電源になる電池（単3形電池、2本）を収納するケースです。（→ 28 ページ「単3形電池で使用する」）



②③ 内蔵モノラルスピーカー

モニター用の内蔵スピーカーです。録音待機中または録音中に、ヘッドホンを接続しているとき、スピーカーがオフに設定されているとき、オーバーダビングモードのとき、録音したファイルの音量が小さいときは音が出力されません。

②④ 三脚取り付け用穴（1 / 4 インチ）

本体に三脚を取り付けることができます。

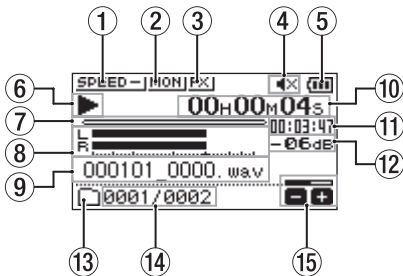
注意

- 本体の落下を防ぐため、三脚またはマイクスタンド各部のネジを確実に締めてください。
- 三脚またはマイクスタンドに本体を取り付けて使用する場合は、三脚またはマイクスタンドを水平な場所に置いてください。

②⑤ 電池ケース蓋

3. 各部の名称と働き

3-7. ホーム画面



[ホーム画面・通常動作モード表示]

① 再生スピード状態表示

再生速度の設定に応じて、以下のアイコンを表示します。

アイコン	再生速度
	1 倍
	1.1 ~ 2.0 倍
	0.5 ~ 0.9 倍
	再生速度の変更不可のとき

② 入力ミックス状態表示

入力ミックスの状態を表示します。

: 入力ミックスなし

: 入力ミックスあり

③ エフェクター状態表示

エフェクターのオン/オフ状態をアイコン表示します。

: 内蔵エフェクターオフ

: 内蔵エフェクターオン

④ 内蔵スピーカー状態表示

: 内蔵スピーカー出力オフ

: 内蔵スピーカー出力オン

⑤ 電池残量/電源供給状態表示

- 電池駆動時は、電池アイコンを表示します。電池残量に応じて、目盛りが表示されます (, ,)。目盛り表示がなくなると が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。
- 別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) 使用時および USB バスパワー駆動時は、 を表示します。

メモ

残量がなくなる前でも録音など消費電力の大きい動作を行おうとすると、「電池残量がありません」の警告のポップアップメッセージが出ることがあります。

⑥ レコーダーの状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
	停止中
	一時停止中
	再生中
	早送り中
	早戻し中
	次のファイルの先頭にスキップ
	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑦ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

⑧ 再生レベルメーター

- 入力音または再生音のレベルを表示します。
- オーバーダビングモードのときは、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。

⑨ 再生ファイル名

- 再生中のファイルのファイル名、またはタグ情報を表示します。
- ID3 タグ情報を持つ MP3 ファイルの場合は、ID3 タグ情報が優先して表示されます。

メモ

ID3 タグ情報とは、MP3 ファイルに保存可能なタイトルやアーティスト名の情報です。

⑩ 経過時間表示

再生中のファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑪ 残量時間表示

再生中のファイルの残量時間（時：分：秒）を表示します。

⑫ ピーク値のデシベル表示

一定時間ごとに、その期間の再生レベルの最大値をデシベル表示します。

⑬ 再生範囲状態表示

現在の再生ファイルの範囲を表示します。

- ：MUSIC フォルダー内の全ファイル
- ：選択したフォルダー内の全ファイル
- ：再生リストに登録されたファイル

⑭ 再生ファイル番号／総ファイル数

再生対象の総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。

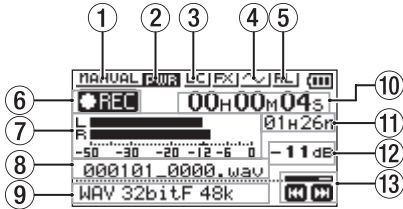
⑮ 出力ボリューム状態表示

出力ボリュームの状態を表示します。

3. 各部の名称と働き

3-8. 録音画面

録音待機中または録音中は、以下の録音画面を表示します。



① レベルモード設定状態表示

レベルモード機能の設定状態をアイコン表示します。

MANUAL：手動レベル調整

LIMITER：リミッター

PEAK：自動ピーク低減

AUTO：自動レベル調整

② プラグインパワー状態表示

プラグインパワーのオン/オフ状態を表示します。

PWR：プラグインパワーオフ

PWR：プラグインパワーオン

③ 低域カットフィルター状態表示

低域カットフィルターのオン/オフ状態を表示します。

LC：低域カットフィルターオフ

LC：低域カットフィルターオン

④ トーン出力設定状態表示

トーン出力のオン/オフ状態をアイコン表示します。

トーン出力オフ

トーン出力オン

⑤ 内蔵ステレオマイクの左右設定表示

内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合っていないときに、現在の左右設定状態を表示します。

アイコン	マイク角度	マイク左右切替
LR	閉 (X-Y)	L-R
RL	開 (A-B)	R-L

⑥ 録音状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
● 	録音一時停止中 (録音待機中)
REC	録音中

⑦ 録音レベルメーター

- 入力音のレベルを表示します。
- オーバーダビングモードでは、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。

⑧ 録音ファイル名

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

⑨ 録音フォーマット表示

録音ファイルの形式、サンプリングレートを表示します。

⑩ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間 (時：分：秒) を表示します。

⑪ 録音残時間

microSD カードの残り録音可能時間 (時：分) を表示します。残り録音可能時間が1分を切ると「秒」のみ表示します。

⑫ ピーク値のデシベル表示

入力レベルのピーク値をデシベル表示します。

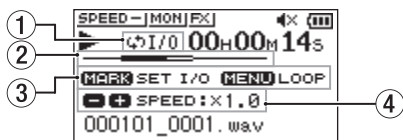
⑬ 録音レベル状態表示

録音レベルの状態を表示します。

3-9. 再生コントロール画面

停止中または再生中に PB CONT ボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。

この画面では、録音はできません。また、◀◀ ボタン / ▶▶ ボタンは、イン点（始点） / アウト点（終点）または先頭 / 末尾へスキップします。前または次のファイルへのスキップはできません。



① ループ再生の設定状態表示

ループ再生が有効なとき、♻️ I/O アイコンが表示されます。

② 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

③ 使用ボタン表示

再生コントロール画面を表示中に使用するボタンと、その用途を表示します。

表示	内容
MARK	イン点（始点）、アウト点（終点）およびそれらのクリアに使います。
MENU	ループ再生のオン／オフを切り換えるのに使います。

④ 再生速度表示

再生速度が標準再生速度の何倍かが表示されます。VSA 機能が有効であることを示す「SPEED」が先頭に表示されます。

メモ

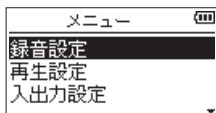
VSA (Variable Speed Audition) 機能とは、曲の音程を保ったまま再生速度を変えることができる機能です。

3. 各部の名称と働き

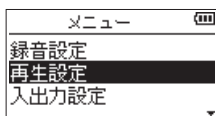
3-10. メニューを使う

再生範囲の設定を変更することを例に説明します。

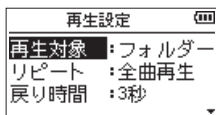
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



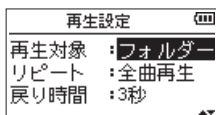
2. +/- ボタンを使ってメニュー項目を選択（反転表示）し、▶ ボタンを押すと各種設定画面に移動します。



3. +/- ボタンを使って、設定する項目を選択します。



4. ▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押すと、設定内容にカーソルが移動します（反転表示）。

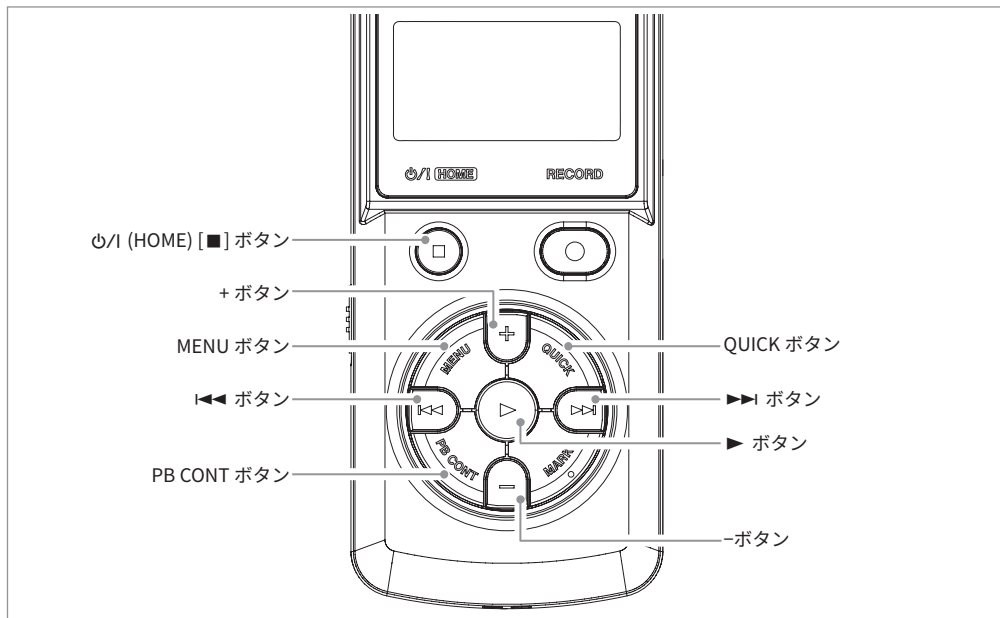


5. +/- ボタンを使って、設定を変更します。

6. 同じメニュー内で別の項目を設定する場合は、◀◀ ボタンを押します。
設定項目選択状態に戻りますので、+/- ボタンを使って設定したい項目を選択します。
7. 必要に応じて、3. ～ 6. を繰り返して、各項目を設定します。
8. MENU ボタンを押すと、メニュー画面（またはその他画面）に戻ります。
9. 0/H (HOME) [■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

3-11. 操作の基本

各種設定画面の操作には、次の操作子を使用します。



HOME [■] ボタン

各設定画面を表示中に HOME [■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

+ ボタン

各項目を画面上方向に移動して選択する、または設定値を高い値/大きい値に変更するときに使用します。

MENU ボタン

メニュー画面を呼び出します。

◀◀ ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を左に移動するときや、ファイル/フォルダー画面でフォルダーを閉じるときに使用します。
確認のポップアップメッセージに対して「いいえ」を選択するときに使用します。

PB CONT ボタン

再生コントロール画面を呼び出します。

QUICK ボタン

クイックメニュー画面を呼び出します。
レコーダーの状態や動作モードによって内容が変わります。

▶▶ ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を右に移動するときや、ファイル/フォルダー画面でフォルダーを開くときに使用します。
確認のポップアップメッセージに対して「はい」を選択するときに使用します。

▶ ボタン

各設定項目の選択を確定します。

- ボタン

各項目を画面下方向に移動して選択する、または設定値を低い値/小さい値に変更するときに使用します。

3. 各部の名称と働き

3-12. メニューの構成

メニューボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー項目は、以下の通りです。

メニュー項目		機能	参照ページ
録音設定	録音形式	録音形式の設定	→ 38 ページ
	サンプル	サンプリングレートの設定	
	チャンネル	ステレオファイル/モノラルファイルの設定	
	録音サイズ	最大ファイルサイズの設定 (ファイルインクリメント機能)	
	マイク電源	プラグインパワーの設定	→ 41 ページ
	低域カット	低域カットフィルターの設定	→ 41 ページ
	事前録音	プリレック機能の設定	→ 52 ページ
	トーン出力	トーン出力の設定	→ 54 ページ
	出力時間	トーン出力の長さの設定	→ 55 ページ
	出力レベル	トーン出力の音量の設定	→ 55 ページ
	モード	オートレック機能のモード設定	→ 50 ページ
開始レベル	オートレック開始の音量設定	→ 50 ページ	
再生設定	再生対象	再生対象の設定	→ 61 ページ
	リピート	リピート再生機能の設定	→ 67 ページ
	戻り時間	ジャンプバック機能の設定	→ 73 ページ
	送り時間	ジャンプフォワード機能の設定	→ 74 ページ
入出力設定	レベルモード	レベルモード機能の設定	→ 44 ページ
	スピーカ出力	内蔵スピーカのオン/オフ設定	→ 34 ページ
	再生音質	再生音質の設定	→ 70 ページ
	出力音量補正	出力音量補正機能の設定	→ 71 ページ
ファイル/フォルダー		microSD カード内のファイル、フォルダー操作	→ 57 ページ
タイマー録音	開始時刻	タイマー録音機能の開始時刻の設定	→ 81 ページ
	終了時刻	タイマー録音機能の終了時刻の設定	
	設定	タイマー録音機能の実行動作の設定	→ 82 ページ
オーバーダビング	モード	オーバーダビングモードの設定	→ 48 ページ
	再生レベル	オーバーダビング時の再生音のレベル設定	
USB	SD カードリーダー	SD カードリーダーモードの選択	→ 89 ページ
	オーディオ I/F	USB オーディオインターフェースの設定	→ 91 ページ
その他	インフォメーション	ファイル情報、microSD カード情報、システム情報を表示します。	→ 101 ページ
	チューナー	チューナーを使用します。	→ 86 ページ
	エフェクト	エフェクターの設定をします。	→ 85 ページ
	ファイル名設定	録音ファイル名の設定をします。	→ 100 ページ
	日時設定	本体内部の日付、時刻を設定します。	→ 32 ページ
マニュアル		取扱説明書などの Web 上のドキュメントページを表示する二次元コードを表示します。	→ 101 ページ

3. 各部の名称と働き

メニュー項目		機能	参照ページ
システム設定	自動電源制御	電源の自動電源制御設定	→ 95 ページ
	バックライト	バックライトの設定	→ 95 ページ
	画面の濃さ	画面の濃さ調節	→ 96 ページ
	電池タイプ	電池の種類の設定	→ 96 ページ
	言語	ディスプレイに表示する言語の設定	→ 97 ページ
	設定初期化	初期設定に戻す	→ 98 ページ
	SD 初期化	microSD カードを初期化	→ 98 ページ
	SD 完全初期化	microSD カードを完全に初期化	→ 99 ページ

注意

- 録音待機中または録音中は、下記の画面と項目のみ表示されます。
 - 録音設定 画面の マイク電源 項目と 低域カット 項目、および 自動録音 項目（自動録音 項目の設定値は変更できません）
 - オーバーダビング画面の モード 項目と 再生レベル 項目（モード 項目の設定値は変更できません）
 - エフェクト 画面の全項目
- 再生コントロール画面では、MENU ボタンを押しても メニュー 画面は表示されません。ループ再生機能がオン／オフされます。（→ 68 ページ「指定した区間を繰り返し再生する（ループ再生）」）

4. 準備

4-1. 電源の準備

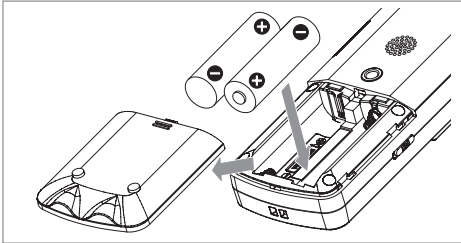
本機は、単3形電池2本（別売）、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520U）または市販のUSBケーブルを使って（USBバスパワー駆動）、本機に電源を供給します。

本機は、単3形アルカリ乾電池、および単3形ニッケル水素電池も使用することができます。

USBバスパワー供給を行う場合は、88ページ「USBバスパワーにより電源を供給する」を参照してください。

単3形電池で使用する

本機の裏面にある電池ケース蓋をスライドして取り外し、電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を2本セットして、電池ケース蓋を取り付けます。



単3形電池で使用する時、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。（→96ページ「電池の種類の設定」）

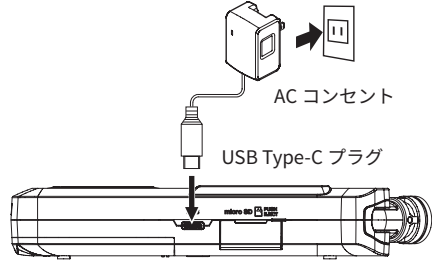
注意

- 単3形マンガン乾電池や単3形リチウム乾電池は、使用できません。
- 本機で充電電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。

ACアダプターで使用する（別売）

図のように、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520U）と本機のUSB端子を接続します。

TASCAM PS-P520U（別売）



注意

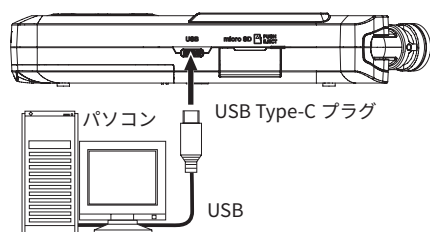
- 必ず別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520U）をご使用ください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。
- 本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

メモ

電池とACアダプターの両方をセットした場合は、ACアダプターから電源が供給されます。

USB バスパワーで駆動する

図のように、パソコンと本機を市販の USB ケーブルを使って接続します。



詳細は、88 ページ「USB バスパワーにより電源を供給する」を参照してください。

4. 準備

4-2. 電源をオンにする／オフにする

△ 注意

電源のオン／オフにするときにヘッドホンを装着しないでください。

ノイズによっては、ヘッドホンのドライバーユニットや聴覚を損傷する恐れがあります。

注意

- 本機の電源のオン／オフは、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。

電源をオンにする

電源がオフ時に、**o/I (HOME) [■]** ボタンを押し続け、TASCAM DR-07XP (起動画面) が表示されたら離します。本機が起動してホーム画面が表示されます。



[起動画面]



[ホーム画面]

最初に電源をオンにしたときの設定

お買い上げ後、最初に電源をオンにしたときは、以下の初期設定を行う必要があります。

- 表示言語の設定
- 内蔵時計の設定

表示言語の設定

メニューの表示言語を変更する画面が表示されます。



1. +/−ボタンを使ってカーソルを移動し、ディスプレイに表示される言語を選択します。

選択肢

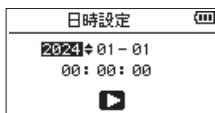
English	: 英語で表示
日本語	: 日本語で表示
Français	: フランス語で表示
Español	: スペイン語で表示
Deutsch	: ドイツ語で表示
Italiano	: イタリア語で表示
Português	: ポルトガル語で表示
Русский	: ロシア語で表示
中文	: 中国語で表示
한글	: 韓国語で表示

2. 選択が完了したら、▶ ボタンを押して確定します。

ディスプレイに表示される言語の設定は、システム設定画面の言語項目でも再設定できます。(→ 97 ページ「言語を設定する」)

内蔵時計の設定

内蔵時計を設定するための画面が表示されます。



1. ◀◀ / ▶▶ ボタンを使ってカーソルを移動し、+ / - ボタンを使って値を変更します。
2. 設定が完了したら、▶ ボタンを押して確定します。起動画面が表示され、起動が終了するとホーム画面が表示されます。

ヒント

日時を設定せずに ▶ ボタンを押して起動させ、あとから日時を設定することもできます。(→ 32 ページ「日時を設定する」)

電源をオフにする

電源がオンのときに、⏪ (HOME) [■] ボタンを押し続け、LINEAR PCM RECORDER と表示されたら離します。



シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。

注意

電源をオフにするときは、必ず ⏪ (HOME) [■] ボタンで行ってください。

電源がオンのときに電池を外したり、別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) で使用しているときに電源コードを抜いたり、USB パスパワーで使用しているときに USB ケーブルを抜いたりすると録音データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

リジューム機能

本機は、リジューム機能を搭載しており、電源をオフにしても再生位置を保持します。電源投入後、最後に停止した位置から再生することができます。

メモ

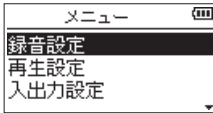
この内容は、microSD カードに記録されているため、microSD カードを入れ変える、または SD 初期化した場合には、リジュームできません。

4. 準備

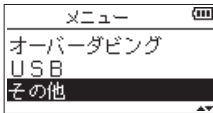
4-3. 日時を設定する

本機は、本体内の時計をもとに、録音したファイルに日時を記録します。

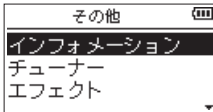
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



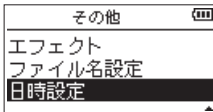
2. +/- ボタンを使ってその他項目を選択し、▶ ボタンを押します。



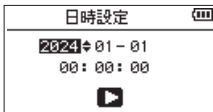
その他画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って日時設定項目を選択し、▶ ボタンを押します。



日時設定画面が表示されます。



4. ◀◀ / ▶▶ ボタンを使ってカーソルを移動し、+/- ボタンを使って値を変更します。

5. ▶ ボタンを押すと確定し、その他画面に戻ります。

メモ

ここで設定した日時をファイルの名前に付けることができます。(→ 100 ページ「ファイル名の形式を設定する」)

注意

日時の設定は、電池のない状態または別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) の接続がない状態、USB バスパワーで動作していない状態では、数分しか保持しません。

電池でお使いの場合は、完全に電池がなくなる前に電池交換することをお勧めします。

4-4. microSD カード (別売) を挿入する / 取り出す

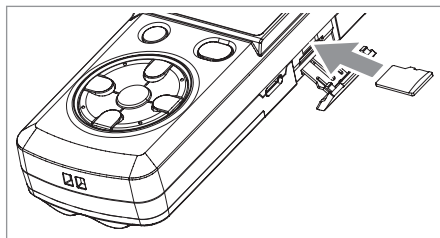
本機で録音、再生を行うために microSD カードが必要です。別途お買い求めください。

使用できる microSD カードは、microSD / microSDHC / microSDXC 規格に対応した microSD カードです。TASCAM のウェブサイトには、当社で動作確認済みの microSD カードのリストが掲載されています。

<https://tascam.jp/jp/product/dr-07xp/support#Compatibility>

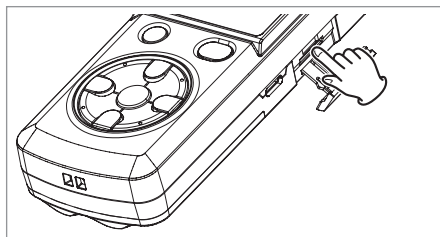
挿入する

1. 右サイドパネルの microSD カードスロットのカバーを開けます。
2. microSD カードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。



取り出す

1. microSD カードスロットのカバーを開けます。
2. microSD カードを軽く押し込んでから離すと手前に出てきます。



注意

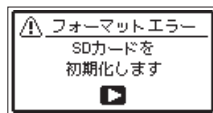
パソコンと USB 接続中、本機から microSD カードを取り外さないでください。

4-5. microSD カード (別売) を使えるようにする

本機で microSD カードをできるようにするために、本機で SD 初期化をする必要があります。

1. microSD カードが挿入されていることを確認し、電源をオンにします。

新しい microSD カード、または本機以外で初期化された microSD カードを挿入したとき、以下のようなポップアップメッセージが表示されます。



2. ▶ ボタンを押すと、初期化を開始します。

注意

SD 初期化を行うと、microSD カード上のデータは全て失われます。

初期化が終了するとホーム画面に戻ります。

また、本機ではいつでも初期化を行うことができます。詳細は、98 ページ「microSD カードを初期化する」を参照してください。

注意

microSD カードの初期化の実行は、電池の残量が十分な状態で行ってください。または別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) を使用するか、パソコンとの USB バスパワー接続状態で駆動しているときに行ってください。

初期化中に本機の電源がオフになると、正常な初期化ができない場合があります。

4. 準備

4-6. 内蔵スピーカーで再生する

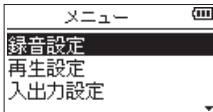
本機の内蔵スピーカーで再生音を聴く場合は、入出力設定画面のスピーカー出力項目をオンにしてください。

メモ

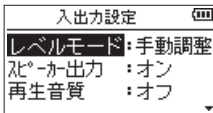
録音待機中または録音中のとき、またはヘッドホン/モニターシステムを接続すると、スピーカー出力項目がオンに設定されていても、スピーカーから音は出力されません。

メニュー画面からの操作

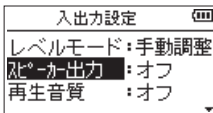
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



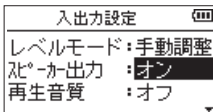
2. + / - ボタンを使って 入出力設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
入出力設定画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って スピーカー 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。



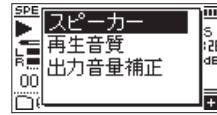
4. + / - ボタンを使って オン に設定します。



5. 設定が終了したら、o/I (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

クイックメニュー画面からの操作

1. ホーム画面で再生中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って スピーカー 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
スピーカー設定画面が表示されます。



選択肢

オフ

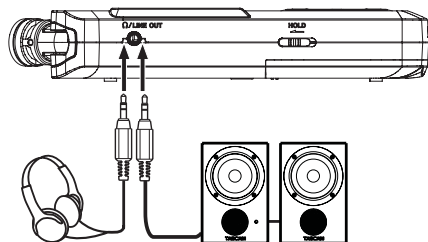
オン (初期値)

3. + / - ボタンを使って機能を選択し、▶ ボタンを押すと機能が有効になり、ホーム画面に戻ります。

4-7. モニター用機器を接続する

ヘッドホンで聴く場合は、 Ω /LINE OUT 端子にヘッドホン
を接続してください。

外部モニターシステム（パワーモニタースピーカーま
たはアンプとスピーカー）で聴く場合は、 Ω /LINE OUT
端子に外部モニターシステムを接続してください。



ヘッドホン

パワーモニタースピーカー
または
アンプとスピーカー

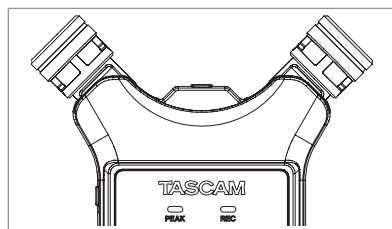
4. 準備

4-8. 内蔵ステレオマイクについて

本機のステレオ内蔵マイクは可動式になっており、マイクの角度を変えることができるようになっています。録音のソースと状況またはお好みに合わせて、広がりのあるステレオ録音または位相差を抑えたクリアなステレオ録音を、内蔵マイクを開閉することで選ぶことができます。

広がりのあるステレオ録音設定をする (A-B ポジション)

マイクを左右に開きます。



A-B ポジション

この設定では、左右に大きく広がったステレオ感あふれる録音が可能です。

内蔵ステレオマイクを使用中にマイクを開閉して、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、マイクの左右設定を切り換えるかどうかのポップアップメッセージが表示されます。(→ 37 ページ「マイク位置検出について」)

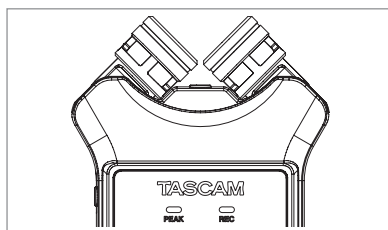
注意

内蔵ステレオマイクの左右設定は、L-R に設定してください。

内蔵ステレオマイク使用時に、マイクを開いたときに左右設定が L-R になっていないときにはホーム画面の **RL** アイコンが反転表示します。(→ 37 ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」)

クリアなステレオ録音設定をする (X-Y ポジション)

マイクを閉じた状態にします。



X-Y ポジション

この設定では、位相差を抑えたクリアなステレオ感のある録音が可能です。

内蔵ステレオマイクを使用中にマイクを開閉して、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、マイクの左右設定を切り換えるかどうかのポップアップメッセージが表示されます。(→ 37 ページ「マイク位置検出について」)

注意

内蔵ステレオマイクの左右設定は、R-L に設定してください。

内蔵ステレオマイク使用時に、マイクを閉じたときに左右設定が R-L になっていないときにはホーム画面の **RL** アイコンが反転表示します。(→ 37 ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」)

4-9. 内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える

マイクの角度設定によって、左マイク、右マイクの入れ換えを行います。

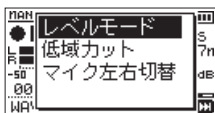
左右のマイクが開いているときには左のマイクが左チャンネル、右のマイクが右チャンネルとなる設定（A-B ポジション時：L-R）にします。

マイクが閉じているときには左のマイクが右チャンネル、右のマイクが左チャンネルとなる設定（X-Y ポジション時：R-L）にします。

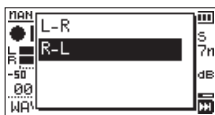
内蔵ステレオマイク使用時に、この設定になっていない場合は、ホーム画面の **RL** アイコンが反転表示します。

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。
REC インジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。

2. QUICK ボタンを押します。
クイックメニュー画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使ってマイク左右切替項目が選択されている状態で、▶ ボタンを押します。
LR スワップ設定ポップアップ画面が表示されます。



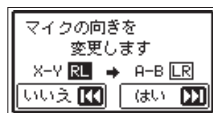
4. +/- ボタンを使って、マイクの開閉状況に応じて L-R もしくは R-L を選択します。

マイク角度	マイク左右切替設定
開 (A-B ポジション)	L-R
閉 (X-Y ポジション)	R-L

5. ▶ ボタンを押すと、選択が確定し、ホーム画面に戻ります。

マイク位置検出について

マイクを開いたり閉じたりして、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、以下のポップアップメッセージが表示されます。



- ▶▶ ボタンを押すと、設定を変更します。
- ◀◀ ボタンを押すと、設定を変更しません。

メモ

- この画面は、左側のマイクを開閉したときに自動的に表示されます。右側のマイクだけを開閉した場合は、表示されません。
- マイクの角度設定を変えてポップアップメッセージが表示されている場合は、▶▶ ボタンを押して L-R 設定を変更するか、◀◀ ボタンを押して設定を変更しないか、マイクの角度をもとに戻してポップアップメッセージを閉じるまでは、録音を開始することができません。
- 録音中は、マイクの角度設定を変えても、このポップアップ画面は表示されません。RECORD [●] ボタンを押して録音待機状態にしてから、QUICK ボタンを押して表示されるクイックメニュー画面のマイク左右切替項目で切り換えを行ってください。（→ 37 ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」）

5. 録音

本機は、内蔵ステレオマイクを使った録音の他に、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）からの信号を録音することができます。

録音オーディオファイル形式は、MP3（32～320 kbps、44.1/48 kHz）、WAV（44.1/48/96 kHz、16-bit/24-bit、32-bit float）から設定可能です。

WAV ファイルは、BWF 形式に対応していますので、録音中に付けたマークを BWF 対応のソフトなどで使用することができます。

また本機では、オーディオファイルを再生しながら入力信号をミックスして別ファイルとして録音することができます（オーバーダビング機能）。

32-bit float

- 32-bit float は非常に広いダイナミックレンジを持ち、非常に小さい音から非常に大きい音まで、正確に記録できます。
- マイク入力部で過大入力にならない限り、録音時に音がクリップ（音割れ）する心配がなく、後の編集で適切なレベルに調節できます。
- 編集時、音質を維持したまま、音量を大幅に調節しても音質の劣化が少なく、幅広い編集が可能です。

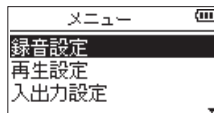
5-1. 録音形式／サンプリングレート／チャンネル／録音サイズを設定する

録音を実行する前に、録音オーディオのファイル形式を設定します。

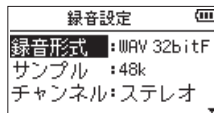
下記の項目を順番に設定をする手順を例として説明します。必要に応じて、各設定を行ってください。

- 録音形式
- サンプリングレート
- チャンネル
- 録音サイズ

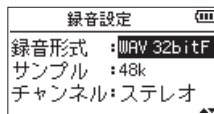
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って 録音設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って 録音形式 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
4. + / - ボタンを使って録音形式を設定します。



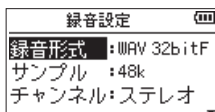
選択肢

- WAV 16bit
- WAV 24bit
- WAV 32bitF (初期値)
- MP3 32k
- MP3 64k
- MP3 96k
- MP3 128k
- MP3 192k
- MP3 256k
- MP3 320k

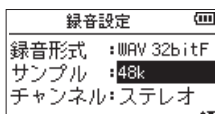
メモ

- WAVの方がMP3よりも高音質で録音ができます。
- MP3の方がWAVよりも長時間録音ができます。
- MP3の場合は、値が大きいほど高音質で録音ができます。

5. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。



6. +/- ボタンを使って サンプル 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
7. +/- ボタンを使ってサンプリングレートを設定します。



選択肢

44.1k

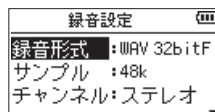
48k (初期値)

96k

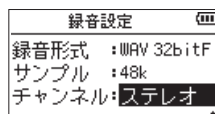
メモ

録音形式がMP3のときは、96kは選択できません。

8. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。



9. +/- ボタンを使って チャンネル 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
10. +/- ボタンを使ってステレオファイルかモノラルファイルかを設定します。



選択肢

ステレオ (初期値)

モノラル

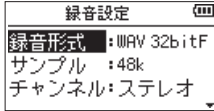
メモ

モノラルを選択するとモノラルファイルが生成されますが、メーターや出力にはL/R両チャンネルに同じ信号が供給されます。

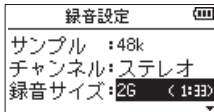
WAV形式のモノラルを選択した場合は、ステレオを選択した場合に対し録音時間が2倍となりますので、長時間録音が可能となります。

5. 録音

11. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。



12. + / - ボタンを使って 録音サイズ 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
13. + / - ボタンを使って最大ファイルサイズを設定します。



選択肢

- 64M
- 128M
- 256M
- 512M
- 1G
- 2G (初期値)

メモ

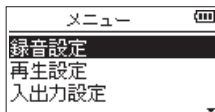
- 録音中に、録音設定 画面で設定した最大ファイルサイズを超えると、新たな別のファイルとして録音を継続します。
 - 録音形式によって、同じ最大ファイルサイズにおける録音時間が異なります。この値は、設定値の右の括弧内に表示されます。
 - 録音時間が 24 時間を超えると、自動的に新しいファイルを作成し、録音を継続します。
14. 設定が終了したら、◀/I (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

5-2. ファイルの保存先を設定する

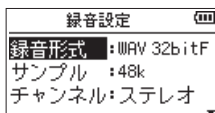
録音したファイルの保存するフォルダーを設定します。録音したファイルは、カレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）に録音されます。詳細は、59 ページ「フォルダー操作」の選択 ポップアップメニュー項目を参照してください。特に指定しない場合は、「MUSIC」フォルダーの下にファイルが作成されます。

5-3. 入力の設定をする

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って 録音設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。



3. この画面で、入力に関する以下の項目を設定します。
◀◀ / ▶▶ ボタン、および + ボタン / - ボタンを使って、各項目の設定を行います。

マイク電源

プラグインパワーを必要とする外部マイクを接続したとき、オンに設定します。(初期値：オン)

低域カット

入力信号への低域カットフィルターのカットオフ周波数を設定します。

選択肢

オフ (初期値)

40Hz

80Hz

120Hz

220Hz

注意

- ダイナミックマイクや電池内蔵の外部マイク、外部オーディオ機器を接続するときは、マイク電源項目をオフに設定してください。オンにすると接続したマイクの故障やノイズ発生の原因になる恐れがあります。
- マイクを使って録音を行うときは、モニターシステムにヘッドホンを使って行ってください。スピーカーを使ってモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて正常な音で録音できない、またはハウリング(フィードバック)を起こす可能性があります。

メモ

マイク電源と低域カットの項目は、録音中および録音待機中でも設定/変更することができます。

ヒント

- 低域カットを使用すると空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切音などのノイズを低減することができます。
- 本機には、エフェクターが内蔵され、必要に応じて入力ソースにかけることができます。(→85ページ「エフェクター」)

5. 録音

5-4. 設置または接続をする

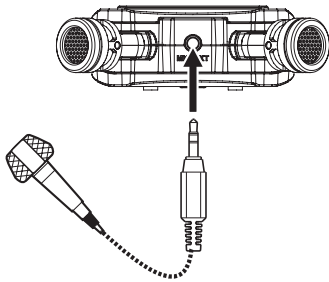
内蔵ステレオマイクで録音する

内蔵ステレオマイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

外部マイクで録音する

外部マイクを本機の MIC/EXT IN 端子に接続します。
外部マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

プラグインパワーを必要とする外部マイクを接続したときは、マイク電源をオンに設定してください。(→ 41 ページ「入力の設定をする」)

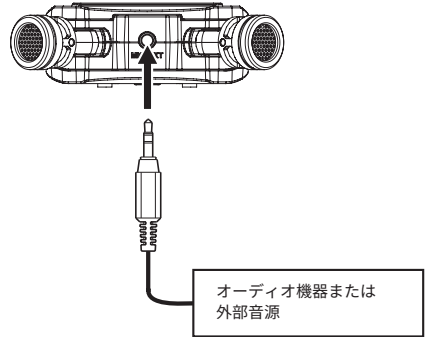


メモ

外部マイク使用時は、内蔵ステレオマイクおよびマイクの左右設定は無効となります。

外部機器から録音する

外部機器を本機の MIC/EXT IN 端子に接続します。
ステレオミニプラグケーブルを使用して、外部オーディオ機器 (ポータブル CD プレーヤーのヘッドホン端子など) の出力と接続してください。



注意

- ラインレベルには対応していません。
- 本機の入力レベルを調節しても、入力された音が歪んでいる場合は、外部機器の再生音量を小さくしてください。

メモ

外部機器使用時は、内蔵ステレオマイクおよびマイクの左右設定は無効となります。

5-5. 入力レベルを調節する

入力音が大きすぎて音割れしたり、小さすぎてノイズに埋もれたりすることを避けるために、入力レベルを調節することができます。

32-bit float を選択した場合にも調節することができます。32-bit float では、後の編集で適切なレベルに調節することができますが、録音時に調節しておく、後で調節し直す手間が省けます。

注意

本機には録音後にレベルを調節する機能はありません。パソコンの編集ソフトなどで調節してください。

ヒント

入力レベルの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。また、マイクの向きや音源との距離によって音質が変わります。

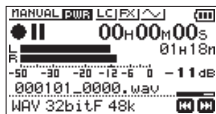
手動で入力レベルを調節する

メモ

32-bit float 時のレベルモードは「手動調整」のみとなります。

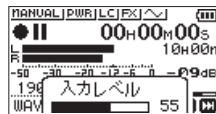
入力レベルを調節

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。REC インジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。



2. ◀▶ / ▶▶ ボタンを使って、入力レベルを調節します。

◀▶ / ▶▶ ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレイの下部にプルアップ表示されます。



録音する音のレベルが歪む直前になると、ディスプレイの左上にある PEAK インジケーターが赤く点灯します。

レベルメーターには、-12dB の位置に ▲ の目印が付いています。この目印を中心にレベルが変化し、かつ PEAK インジケーターが赤く点灯しないように入力レベルを設定してください。

メモ

32-bit float 録音時は調節しなくても、後の編集で適切なレベルに調節し直すことができますが、PEAK インジケーターが点灯する場合は、入力部で過大レベルとなっていますので、本機を音源から離してください。

メモ

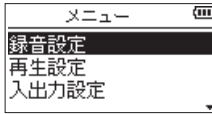
- 録音待機状態を解除するには、◀/▶ (HOME) [■] ボタンを押します。
- 録音待機中や録音中は、入出力設定画面のスピーカー出力項目の設定がオンの場合でもスピーカーから音は出ません。モニター音を聴きながら入力レベル調節や録音を行う場合は、ヘッドホンを本機の Ω /LINE OUT 端子に接続してください。モニター音は、ホーム画面表示中に + / - ボタンで調節できます。モニター音量を変えても録音される音には、影響ありません。

5. 録音

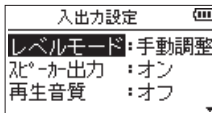
レベルモード機能を使う

メニュー画面からの操作

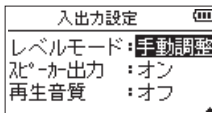
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って 入出力設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
入出力設定 画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って レベルモード 項目を選択し、▶ ボタンを押します。



4. +/- ボタンを使ってレベルモード機能の設定をします。

選択肢

手動レベル調整 (初期値)

手動で入力レベルを調整することができます。

リミッター

突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。音量変化が激しいライブ録音などに適しています。

このモードでは、録音中でも手動で入力レベルを変更することができます。

注意

入力音が大きすぎるとリミッター機能をオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは、手動で入力レベルを下げるか、音源から本体を離してください。

自動ピーク低減

入力音が大きすぎたときに、入力レベルを適度なレベルまで自動で下げる機能です。これにより難しい入力レベルの設定を簡単に行うことができます。

入力レベルを上げたいときは、手動で行うことができます。

ヒント

たとえば、バンド演奏を録音するとき、実際に録音する前に自動ピーク低減機能のリハーサルを行うことができます。録音待機状態で自動ピーク低減モードを選択し、入力レベルを最大にします。ここでリハーサル演奏を行うと、入力音に応じて適度なレベルまで入力レベルが下げられ、演奏に合わせた入力レベルが設定されます。録音を開始する前にオフ（手動調整）すれば設定された入力レベルで録音することができます。また、そのまま録音を行えば録音中も入力音に応じて入力レベルを自動調節できます。

自動レベル調整

入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように入力レベルを自動で調節するため、会議録音などに適しています。このモードでは、手動で入力レベルを変更することはできません。

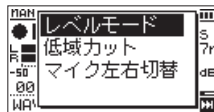
5. 設定が終了したら、0/1 (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

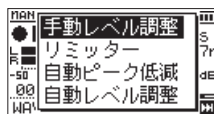
録音形式が 32-bit float のときは、レベルモード機能の設定にかかわらず手動調整の状態となります。

クイックメニュー画面からの操作

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。
REC インジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。
2. QUICK ボタンを押します。
クイックメニュー画面が表示されます。



3. レベルモードが選択されている状態で、▶ ボタンを押します。
レベルモード設定項目画面が表示されます。



選択肢

- 手動レベル調整 (初期値)
- リミッター
- 自動ピーク低減
- 自動レベル調整

4. + / - ボタンを使って機能を選択し、▶ ボタンを押します。
機能が有効になり、録音画面に戻ります。
選択されている機能は、録音画面にアイコンで表示されます。

メモ

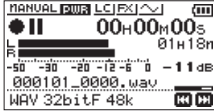
録音形式が 32-bit float のときは手動レベル調整の状態となり、クイックメニューにレベルモードは表示されません。

5. 録音

5-6. 録音する

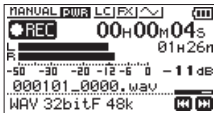
以下の操作手順は、すでに入力ソースが設定され、入力レベル調節を行い、ホーム画面が表示されていることを前提にしています。

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。



録音画面の下側には、録音ファイル名とともに、入力ソース、録音オーディオファイル形式およびサンプリングレートが表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

2. 再度、RECORD [●] ボタン、または ▶ ボタンを押して録音を開始します。



録音が始まるとRECインジケータが点灯し、ディスプレイには、録音経過時間および録音残時間が表示されます。

3. 録音を終了するには、⏪ (HOME) [■] ボタンを押します。
録音を一時停止するには、RECORD [●] ボタンを押します。再度、RECORD [●] ボタン、または ▶ ボタンを押すと、同じファイルに続けて録音を再開します。
一時停止後に ⏪ (HOME) [■] ボタンを押すと、一時停止までを録音したオーディオファイルが作成されます。

注意

本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

5-7. 再生音に入力音を重ねて録音する(オーバーダビング)

すでに録音したファイルを再生しながら、その再生音に入力音を重ねて新しいファイルとして録音することができます。

メモ

- オーバーダビングモードのとき、事前録音機能と自動録音機能は無効になります。
- オーバーダビング中は、手動でファイルを更新することはできません。
- オーバーダビング中は、一時停止はできません(RECORD [●] ボタン操作を受け付けません)。
- オーバーダビングは、サンプリングレートの設定にかかわらず、再生ファイルのサンプリングレートとなります。
- サンプリングレートが 96 kHz の WAV ファイルをオーバーダビングするときには、MP3 ファイルにすることはできません。

入力音を重ねるファイルを選択する

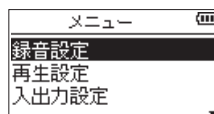
◀◀ / ▶▶ ボタン、もしくはファイル/フォルダー画面で、音を重ねたいファイルを選択します。

メモ

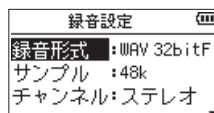
ファイル/フォルダー画面を使ってのファイルの選択は、57 ページ「ファイルやフォルダーの操作(ファイル/フォルダー画面)」を参照してください。

録音形式を設定する

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って 録音設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って 録音形式 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
4. + / - ボタンを使って、録音形式を設定します。
5. 設定が終了したら、◀/ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

5. 録音

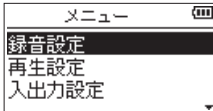
オーバーダビングモードにする

オーバーダビングモードでは、再生音と入力音をミックスして聴くことができます。

メモ

オーバーダビングモードのとき、スピーカーの設定をオンにしてもスピーカーから音は出ません。

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使ってオーバーダビング項目を選択し、▶ ボタンを押します。
オーバーダビング画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使ってモード項目を選択し、▶▶ ボタンまたは▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、オンに設定します。
(初期値：オフ)



これで入力音のモニターが可能になります。

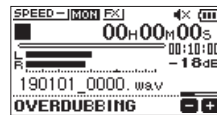
5. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。
6. +/- ボタンを使って再生レベル項目を選択し、▶▶ ボタンまたは▶ ボタンを押します。

7. +/- ボタンを使って、再生音のレベルを調節します。



設定範囲は、0～30（初期値：20）です。
レベル設定が20のとき、録音したままのレベルで再生されます。

8. 設定が終了したら、◀/▶ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。
オーバーダビングモードのとき、画面には **OVERDUBBING** と表示されます。



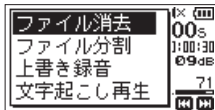
ヒント

オーバーダビングモードのとき、再生コントロール機能を利用して、再生音に合わせて歌や楽器の練習をすることができます。

入力レベルを調節する

オーバーダビングモードのとき、QUICK ボタンを押すことで入力レベルの調節が可能になります。

1. ホーム画面で停止中または再生中に QUICK ボタンを押します。
クイックメニュー画面が表示されます。



[停止中のクイックメニュー画面]

2. 入力音を聴きながら、◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、入力レベルを調節します。

注意

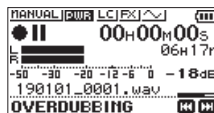
- クイックメニュー画面が表示されるため、レベルメーターを見ながらの調節はできません。
- 入力音のレベルが歪む直前になると、ディスプレイの左上にある PEAK インジケーターが赤く点灯しますので、PEAK インジケーターが赤く点灯しないように入力レベルを設定してください。

メモ

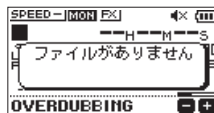
オーバーダビングモードでの PEAK インジケーターは、入力音と再生音をミックスした信号のレベルで点灯します。

オーバーダビングを実行する

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。



再生可能なファイルが選択されていないときは、次のようなポップアップメッセージが表示されます。



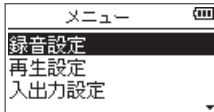
2. RECORD [●] ボタンを押します。
オーバーダビングが始まります。
録音が始まると REC インジケーターが点灯し、録音画面には録音経過時間および録音残時間が表示されます。
3. 録音を終了するには、◀/ (HOME) [■] ボタンを押します。

5. 録音

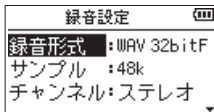
5-8. 録音機能を自動で動作させる (自動録音)

入力音のレベルに応じて、録音の開始や一時停止とファイルの更新、マークの設定を自動で行う機能です。

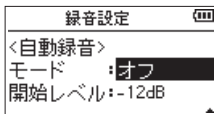
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って 録音設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って モード 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
4. + / - ボタンを使って、自動録音のモード項目を設定します。



選択肢

オフ (初期値)

新ファイル

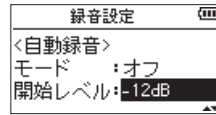
自動で録音と停止を行うモード

マーク

自動で録音とマークを行うモード

5. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。
6. + / - ボタンを使って 開始レベル 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。

7. + / - ボタンを使って、信号が入力されたと判断する基準レベルを設定します。



選択肢

- 6dB
- 12dB (初期値)
- 24dB
- 48dB

8. 設定が終了したら、⏪ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。
9. RECORD [●] ボタンを押し、録音待機状態にします。
入力音が 開始レベル 項目で設定した基準レベルを上回ると自動で録音を開始します。
録音中の動作は モード の設定により、次のようになります。

新ファイルのとき

入力音が 開始レベル 項目で設定した基準レベルを 5 秒以上にわたって下回ると録音待機状態になり、その後入力音が基準レベルを上回ると新しいファイルに録音を再開します。

マークのとき

入力音が 開始レベル 項目で設定した基準レベルを 5 秒以上にわたって下回ったあとに、入力音が基準レベルを上回るとその位置にマークを付けます。

10. 録音を停止させる場合は、⏪ (HOME) [■] ボタンを押します。

ヒント

事前録音機能と組み合わせることにより、出音の部分で欠かすことなく録音できます。

注意

- 自動録音機能がオンのときには、セルフタイマーは使用できません。
- オーバーダビングモード時 / 上書き録音時は、自動録音機能は使用できません。

5-9. 録音中にファイルを切り換えて録音を続ける (トラックインクリメント)

録音中に手動で、または録音設定画面にて設定した最大ファイルサイズになったときに自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続することができます (トラックインクリメント機能)。

録音中に手動でトラックインクリメントする

録音中に、いつでも簡単に手動でファイルを更新し、録音を継続することができます。

録音中に、QUICK ボタンを押します。

メモ

新しいファイルが作成されると、ファイル名の末尾の数字が繰り上がります。

注意

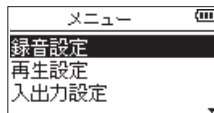
- フォルダーとファイルの総数が 5000 個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。
- 録音時間が 2 秒以内 (サンプリングレートが 96 kHz の場合は 4 秒以内) のファイルを作成することはできません。
- 新たに作成するファイルのファイル名がすでに存在する場合は、さらに数字が繰り上がります。
- オーバーダビング中 / 上書き録音中は、トラックインクリメントはできません。

ファイルサイズで自動的にトラックインクリメントする

録音中に、録音設定画面にて設定した最大ファイルサイズに達すると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続します。

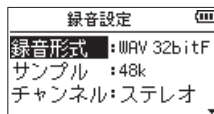
以下の手順で最大ファイルサイズの設定を行います。

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って 録音設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。

録音設定画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って 録音サイズ 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。

+ / - ボタンを使って、自動でトラックインクリメントする最大ファイルサイズを設定します。

選択肢

- 64M
- 128M
- 256M
- 512M
- 1G
- 2G (初期値)

4. 設定が終了したら、⏪ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

注意

フォルダーとファイルの総数が 5000 個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。

メモ

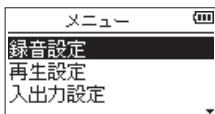
録音形式によっては、同じ最大ファイルサイズにおける録音時間が異なります。

5. 録音

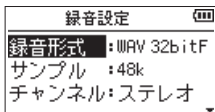
5-10. 録音開始の少し前から録音する(事前録音)

録音待機中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録音開始時に最大2秒前からの信号を録音することができます。

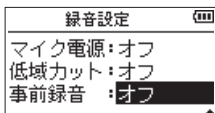
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って 録音設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 事前録音 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、オンに設定します。



選択肢

- オフ (初期値)
- オン

5. 設定が終了したら、⏪/I (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

ヒント

自動録音機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

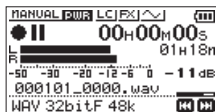
メモ

- 録音待機状態になってから2秒以内に録音を開始した場合は、録音待機状態にした時点からの録音となります。
- オーバーダビング/上書き録音時、事前録音機能は使用できません。

5-11. セルフタイマー機能

カメラのセルフタイマーのように、設定時間経過後に録音を開始するように設定ができます。

1. 停止中または再生中に RECORD [●] ボタンを押して録音待機状態にします。
REC インジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。



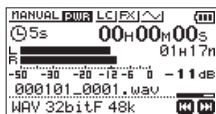
2. PB CONT ボタンを押します。

レコーダーの動作状態表示部が、セルフタイマーアイコン (🕒) に変わり、その右に時間が表示されます。

PB CONT ボタンを押すたびに、以下のように設定が変わります。

🕒 アイコン右の時間表示

オフ (初期値) → 5S (5 秒) → 10S (10 秒) → オフ



3. 時間を設定後、RECORD [●] ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
設定時間経過後、録音が始まります。

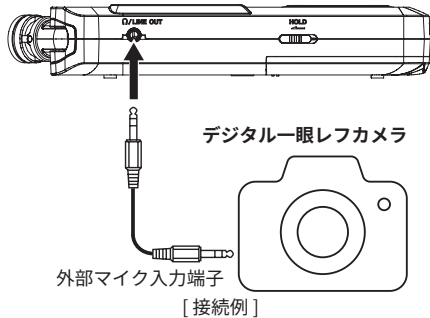
メモ

- 設定時間経過中は、REC インジケーターが早く点滅します。
- 録音中に一時停止したときには、セルフタイマーは使用できません。
- 自動録音機能がオンのときには、セルフタイマーは使用できません。
- 上書き録音時、セルフタイマーは使用できません。

5-12. トーン出力を使う

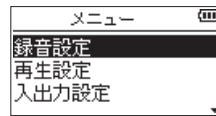
トーン出力は、録音開始時や録音終了時に自動的にトーン信号を挿入する機能です。

左サイドパネルの Ω /LINE OUT 端子とデジタル一眼レフカメラの外部マイク入力端子を接続してトーン出力を使うと、同じトーン信号がお互いのファイルに記録されるので、動画編集ソフトで位置合わせの際に目安にすることができます。

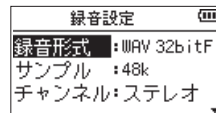


トーン出力を設定する

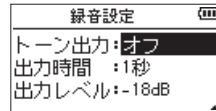
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って 録音設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って トーン出力 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
4. + / - ボタンを使って、トーン信号を挿入する位置を設定します。



選択肢

オフ (初期値)

録音開始時 (録音開始時のみ)

開始 + 終了 (録音開始時と終了時)

5. 設定が終了したら、 \circ /1 (HOME) [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

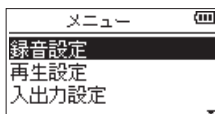
注意

- 自動録音によって録音が停止したときは、終了時のトーン信号は録音されません。
- 上書き録音時、自動トーン機能は使用できません。

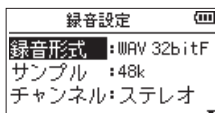
トーン出力の長さを設定する

トーン出力のトーン長を設定します。

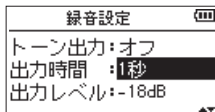
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って 録音設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 出力時間 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、トーン長を設定します。



選択肢

0.5 秒

1 秒 (初期値)

2 秒

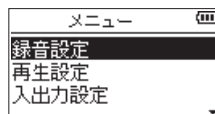
3 秒

5. 設定が終了したら、⏪/ (HOME) [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

トーン出力の音量を調節する

トーン出力の音量を調節することができます。

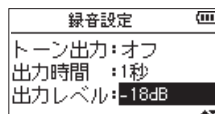
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って 録音設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
録音設定画面が表示されます。

3. +/- ボタンを使って 出力レベル 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。

4. +/- ボタンを使って、トーンの音量を調節します。



選択肢

- 12dB

- 18dB (初期値)

- 24dB

- 30dB

- 36dB

5. 設定が終了したら、⏪/ (HOME) [■] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

5. 録音

5-13. 録音時間について

各録音形式における、microSD / microSDHC / microSDXC カード容量別の録音時間を以下の表に示します。

録音形式		microSD / microSDHC / microSDXC カード容量					
		2 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB	
WAV 16 ビット (ステレオ)	44.1 kHz	3 時間 05 分	24 時間 40 分	49 時間 20 分	98 時間 40 分	197 時間 20 分	
	48 kHz	2 時間 50 分	22 時間 40 分	45 時間 20 分	90 時間 40 分	181 時間 20 分	
	96 kHz	1 時間 25 分	11 時間 20 分	22 時間 40 分	45 時間 20 分	90 時間 40 分	
WAV 24 ビット (ステレオ)	44.1 kHz	2 時間 03 分	16 時間 28 分	32 時間 56 分	65 時間 52 分	131 時間 44 分	
	48 kHz	1 時間 53 分	15 時間 08 分	30 時間 16 分	60 時間 32 分	121 時間 04 分	
	96 kHz	56 分	7 時間 32 分	15 時間 04 分	30 時間 08 分	60 時間 16 分	
WAV 32 ビット float (ステレオ)	44.1 kHz	1 時間 32 分	12 時間 20 分	24 時間 40 分	49 時間 20 分	98 時間 40 分	
	48 kHz	1 時間 25 分	11 時間 20 分	22 時間 40 分	45 時間 20 分	90 時間 40 分	
	96 kHz	42 分	5 時間 40 分	11 時間 20 分	22 時間 40 分	45 時間 20 分	
MP3 (ステレオ/ モノラル)	32 kbps	44.1 kHz / 48 kHz	138 時間 06 分	1104 時間 48 分	2209 時間 36 分	4419 時間 12 分	8838 時間 24 分
	64 kbps	44.1 kHz / 48 kHz	69 時間 03 分	552 時間 24 分	1104 時間 48 分	2209 時間 36 分	4419 時間 12 分
	96 kbps	44.1 kHz / 48 kHz	42 時間 02 分	368 時間 16 分	736 時間 32 分	1473 時間 04 分	2946 時間 08 分
	128 kbps	44.1 kHz / 48 kHz	34 時間 31 分	276 時間 12 分	552 時間 24 分	1104 時間 48 分	2209 時間 36 分
	192 kbps	44.1 kHz / 48 kHz	23 時間 01 分	184 時間 08 分	368 時間 16 分	736 時間 32 分	1473 時間 04 分
	256 kbps	44.1 kHz / 48 kHz	17 時間 15 分	138 時間 04 分	276 時間 08 分	552 時間 16 分	1104 時間 32 分
	320 kbps	44.1 kHz / 48 kHz	13 時間 48 分	110 時間 28 分	220 時間 56 分	441 時間 52 分	883 時間 44 分

- 上記録音時間は目安です。ご使用の microSD / microSDHC / microSDXC カードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD / microSDHC / microSDXC カードに可能な録音合計時間です。
- 録音時間が 24 時間を超えると、自動的に新しいファイルを作成し、録音を続けます。
- WAV 形式の MONO 録音の場合は、上記録音時間の約 2 倍の時間となります。

6. ファイルやフォルダーの操作 (ファイル／フォルダー画面)

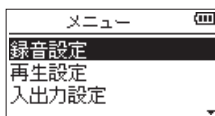
ファイル／フォルダー画面では、microSD カード上の MUSIC フォルダー (オーディオファイルの収納フォルダー) の内容を見ることができます。また、この画面で選択したオーディオファイルの再生や削除、フォルダーの作成や再生リストへの登録などができます。(→ 64 ページ「再生リスト」)

ヒント

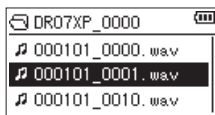
本機とパソコンを USB 接続するか、あるいは microSD カードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンからも MUSIC フォルダー内のフォルダー構成の変更やファイルの削除ができます。さらにパソコンからはファイル名の編集が可能です。

6-1. ファイル／フォルダー画面を表示する

1. MENU ボタンを押してメニュー画面を表示する。



2. + / - ボタンを使ってファイル／フォルダー項目を選択し、▶ ボタンを押します。



この画面には、ファイル／フォルダー画面を表示する前に、ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

6-2. ファイル／フォルダー画面内のナビゲーション

ファイル／フォルダー画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダーや音楽ファイルが「階層ツリー形式」で表示されます。フォルダーは、第 2 階層まで作成できます。

- + / - ボタンを使って、ファイルやフォルダーを選択します。
- フォルダーを選択中に ▶▶ ボタンを押すと、フォルダーの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダーを選択中に ◀◀ ボタンを押すと、現在開いているフォルダーが閉じて、上位の階層レベルが表示されます。
- フォルダーやファイルを選択中に QUICK ボタンを押すと、ポップアップメニューが表示されます。
- ファイルを選択中に ▶ ボタンを押すと、ホーム画面に戻りそのファイルが再生されます。このファイルを含むフォルダーがカレントフォルダー (現在選択されているフォルダー) になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生範囲設定がフォルダーの場合は、このフォルダーが再生範囲になります。
- フォルダーが選択中 (反転表示中) に ▶ ボタンを押すと、ホーム画面に戻り、そのフォルダーの最初のファイル (リスト表示したときに一番上に表示されるファイル) が再生されます。このフォルダーがカレントフォルダー (現在選択されているフォルダー) になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定がフォルダーになり、このフォルダーが再生範囲になります。

6. ファイルやフォルダーの操作 (ファイル／フォルダー画面)

6-3. ファイル／フォルダー画面内のアイコン表示

以下にファイル／フォルダー画面内のアイコン表示内容を説明します。

MUSIC フォルダー (📁) MUSIC

ルート (ROOT) 階層表示中のファイル／フォルダー画面では、最上段に MUSIC フォルダーが表示されます。

オーディオファイル (🎵)

音楽ファイルは、🎵 アイコンのあとにファイル名が表示されます。

フォルダー (📁)

内部にフォルダーが存在するフォルダーです。

フォルダー (📁)

内部にフォルダーが存在しないフォルダーです。

表示中のフォルダー (📁)

現在、このフォルダーの内容を画面表示しています。

6-4. ファイル操作

ファイル／フォルダー画面内の希望のオーディオファイルを選択し、QUICK ボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。

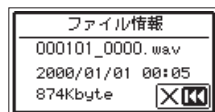


+/- ボタンを使って希望の項目を選択し、▶ ボタンを押すと、本機が以下の動作を行います。

ファイル情報

選択したファイルの情報 (日時、サイズ) が表示されます。

◀◀ ボタンを押すと、ファイル／フォルダー画面に戻ります。



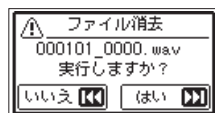
リスト登録

再生リストに選択したファイルを登録します。(→ 64 ページ「再生リスト」)

ファイル消去

選択したファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

▶▶ ボタンを押すとファイルが削除され、◀◀ ボタンを押すと削除が中止されます。



メモ

QUICK ボタンを押すことでポップアップメニューを閉じることもできます。

6. ファイルやフォルダーの操作 (ファイル/フォルダー画面)

6-5. フォルダー操作

ファイル/フォルダー画面内の希望のフォルダーを選択し、QUICK ボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



+/- ボタンを使って希望の項目を選択し、▶ ボタンを押すと、本機が以下の動作を行います。

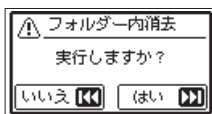
フォルダー選択

ホーム画面に戻り、選択したフォルダー内の最初のファイルが選択されます。直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定がフォルダーになり、このフォルダーが再生範囲になります。また、この操作で選択されたフォルダーに、録音したファイルが保存されます。

フォルダー内消去

選択したフォルダー内のファイルを一括削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

▶▶ ボタンを押すとファイルが削除され、◀◀ ボタンを押すと削除が中止されます。



フォルダー消去

選択したフォルダーとフォルダー内のファイル、フォルダを一括削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

▶▶ ボタンを押すとフォルダーおよびフォルダー内が消去され、◀◀ ボタンを押すと削除が中止されます。

メモ

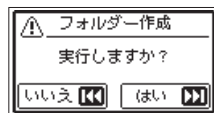
- 書き込み禁止ファイルや本機で認識されていないファイルは、削除されません。
- QUICK ボタンを押すことでポップアップメニューを閉じることもできます。

6-6. 新しいフォルダーを作る

- +/- ボタンを使って各フォルダーの一番下にあるフォルダー作成を選択します。



- ▶ ボタンを押します。
新たなフォルダーを作成する確認のポップアップメッセージが表示されます。



- ▶▶ ボタンを押すとフォルダーが作成されます。
◀◀ ボタンを押すと作成が中止されます。

新規に作成されたフォルダーがカレントフォルダー (現在選択されているフォルダー) になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生範囲設定がフォルダーの場合は、このフォルダーが再生範囲になります。

メモ

本機では3階層以上のフォルダーを扱うことはできないため、第2階層のフォルダーにはフォルダー作成はありません。

7.再生

ホーム画面上では、◀◀ / ▶▶ ボタンを使って再生する曲（ファイル）を選びます。このときに選択可能なファイルの範囲を「再生範囲」として設定することができます。microSD カード上に数多くのファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより選択がやりやすくなります。

再生設定画面で、再生範囲を「全ファイル」、「現在のフォルダー」、「再生リスト」の中から選択することができます。また、ファイル／フォルダー画面を使って希望のフォルダーを再生範囲に設定することができます。

メモ

ファイル／フォルダー画面では、再生範囲設定にかかわらず、microSD カード上の希望のファイルを選択することができます。

7-1. 再生の音量を調節する

内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT 端子から出力される音量を、ホーム画面表示中に + / - ボタンを使って調節します。

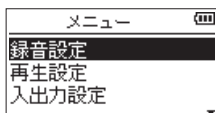
このとき、ボリューム位置がディスプレイの下部にプルアップ表示されます。



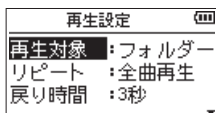
7-2. 再生範囲を設定する（再生対象）

再生設定 画面で再生範囲を設定することができます。

1. MENU ボタンを押して、メニュー 画面を表示します。

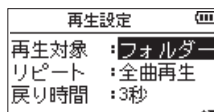


2. + / - ボタンを使って 再生設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
再生設定 画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って 再生対象 項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。

4. + / - ボタンを使って、再生範囲を設定します。



選択肢

全ファイル

microSD カード上の MUSIC フォルダ内の全ファイルを再生することができます。

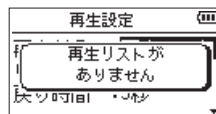
フォルダ（初期値）

現在選ばれているファイルが含まれているフォルダ内のファイルを再生することができます。

再生リスト

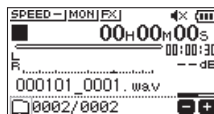
再生リストに登録されているファイルを再生することができます。（→ 8 ページ「microSD カードについて」）

再生リストが存在しない場合は、ポップアップメッセージ「再生リストがありません」を表示します。



5. 設定が終了したら、⏪ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

再生範囲の現在の設定が、ホーム画面左下部に表示されます。



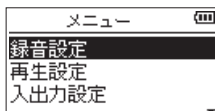
再生範囲表示

7. 再生

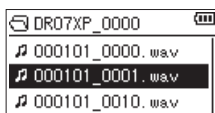
7-3. ファイル／フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (1)

現在の再生範囲にかかわらず、ファイル／フォルダー画面でフォルダーを選択すると、選択したフォルダーが再生範囲になります。

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使ってファイル／フォルダー項目を選択し、▶ ボタンを押します。
ファイル／フォルダー画面が表示されます。



ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

3. ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って階層を移動し、+/- ボタンを使って、フォルダーを選択します。

メモ

ファイル／フォルダー画面でのナビゲーション操作については、57 ページ「ファイルやフォルダーの操作 (ファイル／フォルダー画面)」をご覧ください。

4. QUICK ボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



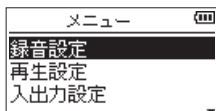
5. +/- ボタンを使ってフォルダー選択を選択し、▶ ボタンを押します。
ホーム画面に戻り、フォルダー内の最初のファイルが選択され、停止状態になります。

以前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定がフォルダーになり、このフォルダーが再生範囲になります。また、このフォルダーがカレントフォルダー (現在選択されているフォルダー) になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。

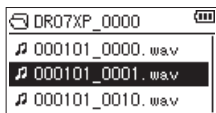
7-4. ファイル／フォルダー画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (2)

再生範囲がフォルダー のとき、ファイル／フォルダー画面でファイルを選択すると、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使ってファイル／フォルダー 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
ファイル／フォルダー画面が表示されます。



ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

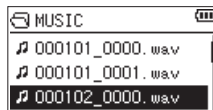
3. ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って階層を移動し、+/- ボタンを使って再生したい曲 (ファイル) が入っているフォルダーを選択します。

メモ

ファイル／フォルダー画面でのナビゲーション操作については、57 ページ「ファイルやフォルダーの操作 (ファイル／フォルダー画面)」をご覧ください。

4. ▶▶ ボタンを押します。

5. 再生したい曲 (ファイル) を選択します。



6. ▶ ボタンを押します。

ホーム画面に戻り、選択したファイルが再生されます。また、このフォルダーがカレントフォルダー (現在選択されているフォルダー) になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。再生範囲がフォルダー に設定されていた場合は、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

7. 再生

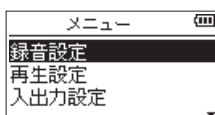
7-5. 再生リスト

再生するファイルのリスト（再生リスト）を作成することができます。

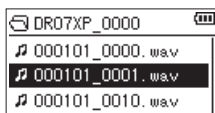
再生設定画面の再生対象項目で再生リストに設定すると、再生リスト上の曲を再生することができます。

再生リストに登録する

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使ってファイル/フォルダー項目を選択し、▶ ボタンを押します。
ファイル/フォルダー画面が表示されます。



ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

メモ

ファイル/フォルダー画面の詳細については、57 ページ「ファイルやフォルダーの操作（ファイル/フォルダー画面）」をご覧ください。

3. +/- ボタンを使って再生リストに登録したいファイルを選択し、QUICK ボタンを押します。
ポップアップメニューが表示されます。

メモ

ファイルの選択方法の詳細については、57 ページ「ファイルやフォルダーの操作（ファイル/フォルダー画面）」をご覧ください。

4. +/- ボタンを使って、リスト登録を選択します。

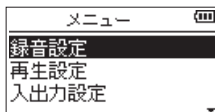


5. ▶ ボタンを押します。
選択した曲が再生リストに登録され、ポップアップメニューが閉じます。
5. 必要に応じて上記手順 3.、4.、5. を繰り返します。
リスト上では、登録順に曲番号が付けられます。

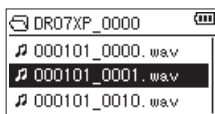
再生リストを編集する

再生リスト画面には、作成した再生リストが表示されます。また、この画面を使って、ファイルの再生や再生リストの編集を行うことができます。

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使ってファイル/フォルダー項目を選択し、▶ ボタンを押します。
ファイル/フォルダー画面が表示されます。



ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

3. ◀◀ ボタンを使って、一番上の階層まで階層を移動します。



4. +/- ボタンを使って再生リストを選択して、▶▶ ボタンを押します。
再生リスト画面が表示されます。



5. +/- ボタンを使って編集したいファイルを選択し、QUICK ボタンを押します。
ポップアップメニューが表示されます。

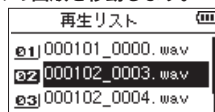


6. +/- ボタンを使って希望の項目を選択し、▶ ボタンを押すと、本機が以下の動作を行います。

移動

選択している曲（ファイル）の曲順を変更します。ファイル名だけでなく、曲番数字も反転表示になります。

- 1) +/- ボタンを使って、再生リスト内で選択ファイルの曲順を移動します。



上図は、3 曲目のファイルを 2 曲目に移動した例です。

- 2) ▶ ボタンを押します。

移動が完了して、通常の再生リスト画面に戻ります。

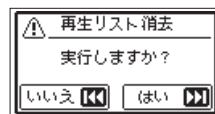
登録解除

曲を再生リストから削除します。再生リストから削除されますが、microSD カードからは削除されません。

全リスト消去

再生リスト上の全てのファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されますので、削除する場合は ▶▶ ボタンを押します。削除しない場合は ◀◀ ボタンを押します。

この操作の場合は、手順 3. でどの曲を選択してもかまいません。全ファイルが再生リストから削除されますが、microSD カードからは削除されません。



7. 再生

7-6. 再生するファイルを選択する (スキップ)

ホーム画面で、◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、再生したいファイルを選択します。

ファイルの途中で ◀◀ ボタンを押すとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭で ◀◀ ボタンを押すと1つ前のファイルの先頭にスキップします。

ファイルの先頭、または途中で ▶▶ ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- 再生中のファイル情報 (曲名など) やファイル番号がディスプレイに表示されます。
- 現在の位置から曲の先頭または最後まで間にイン点 (ループ再生の始点) およびアウト点 (終点) がある場合には、その点に移動します。曲を移動したい場合には、◀◀ / ▶▶ ボタンを必要なだけ押してください。

7-7. 再生する

ホーム画面で停止中に ▶ ボタンを押すと、再生を開始します。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- ファイル/フォルダー画面でファイル名を選択して再生させることもできます。

一時停止する

ホーム画面で再生中に ◯/I (HOME) [■] ボタンを押すと、その位置で再生を停止します (一時停止)。

再度 ▶ ボタンを押すと、その位置から再生を開始します。

停止する

ホーム画面で再生中に ◯/I (HOME) [■] ボタンを押して一時停止状態にし、再度 ◯/I (HOME) [■] ボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります (停止)。

早戻し/早送りをする (サーチ)

ホーム画面で停止中または再生中に ◀◀ / ▶▶ ボタンを押し続けると、早戻し/早送りサーチを行います。

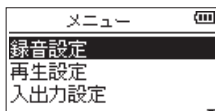
メモ

◀◀ / ▶▶ ボタンを押し続けるとサーチスピードが加速してゆきます。

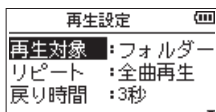
7-8. 繰り返し再生する(リピート)

1つのファイルを繰り返して再生する、または指定した範囲内の複数のファイルを繰り返して再生することができます。

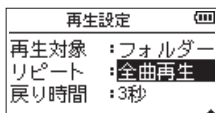
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って再生設定項目を選択し、▶ ボタンを押します。
再生設定画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使ってリピート項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。



4. +/- ボタンを使って、リピートのモードを設定します。
選択肢

全曲再生(初期値)

通常の再生(再生範囲内の連続再生)を行うモードです。

1曲再生

1曲だけ再生するモードです。

リピートは行いません。

ホーム画面に ◀▶ | アイコンが表示されます。

1曲繰返し

再生中の曲をリピート再生するモードです。

ホーム画面に ◀▶ | アイコンが表示されます。

全曲繰返し

再生範囲設定で設定した範囲内の全曲をリピート再生するモードです。

ホーム画面に ◀▶ | ALL アイコンが表示されます。

メモ

上記のリピート項目を全曲再生以外に設定しているときにループ再生を実行すると、リピート再生が自動的に全曲再生になります。

5. 設定が終了したら、◀/| (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻り、再生を開始します。

7. 再生

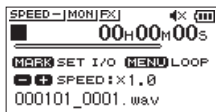
7-9. 特殊な再生（再生コントロール機能）

本機の再生コントロール機能を使って、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生する、または音程を変えずに再生速度を変えることができます。また、再生したときに小さくて聴き取りにくいときに、全体の音圧感を調整して聴き取りやすくすることができます。これらの再生コントロール機能を使って、練習やフレーズコピーを効果的に行うことができます。

再生コントロール機能の設定

再生コントロール機能の設定は、再生コントロール画面で行います。

ホーム画面で停止中または再生中に PB CONT ボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。

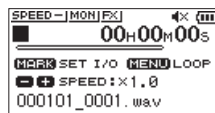


この画面では、再生速度、ループ再生の設定ができます。この画面内での設定作業を終えたあと、0/I (HOME) [■] ボタンまたは PB CONT ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

指定した区間を繰り返し再生する（ループ再生）

以下の手順で、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生（ループ再生）することができます。

1. ホーム画面で停止中または再生中に PB CONT ボタンを押して、再生コントロール画面を表示します。



2. ▶ ボタンを押して再生し、ループ再生したい区間の始点で MARK ボタンを押します。現在位置がイン点（始点）として設定されます。

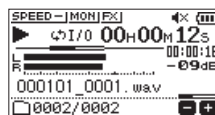


3. ループ再生したい区間の終点で MARK ボタンを押します。現在位置がアウト点（終点）として設定され、イン—アウト点間のループ再生が開始されます。



ループ再生中は0/I が点灯します。

4. PB CONT ボタンを押すと、イン点（始点）／アウト点（終点）の設定、およびループ設定が有効なままホーム画面に戻ります。



メモ

- インーアウト点間が短すぎる場合には、「間隔が短すぎます」というポップアップメッセージが表示されます。1秒以上空けて設定し直してください。
- 再度 MARK ボタンを押すと、イン点（始点）およびアウト点（終点）をクリアします。
- ループ再生を中止するには、再生コントロール画面を表示中に MENU ボタンを押します。再度 MENU ボタンを押すと、設定されているインーアウト点間でループ再生を行います。
- 2つ以上のファイルを跨いでのイン点（始点）およびアウト点（終点）の設定はできません。
- 違うファイルに対してイン点（始点）を設定すると、以前のイン点（始点）およびアウト点（終点）の設定は破棄されます。
- MP3 ファイルが VBR 形式の場合は、正確なイン点（始点）およびアウト点（終点）の指定ができない場合があります。

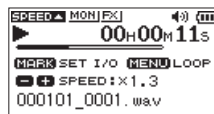
再生速度を変える (VSA 機能)

本機では、VSA 機能 (Variable Speed Audition) が搭載されており、再生音の音程を保ったまま再生速度を変えることができます。

メモ

サンプリングレートが 96 kHz で録音されたファイルを選択しているときには、VSA 機能は使用できません。このとき、**SPEED X** アイコンが表示されます。ただし、このときにも再生速度の変更は行うことができます。このファイルでは有効になりませんが、ホーム画面に戻って **◀◀** / **▶▶** ボタンを使うなどして 44.1/48 kHz のファイルをロードしたときに、再生速度の設定が有効になります。

再生コントロール画面表示中に、+ / - ボタンを押すと、再生速度を早くするまたは遅くすることができます。



再生速度の可変範囲は、0.5 倍 (50%) ~ 2.0 倍 (200%) の範囲で、0.1 倍単位で設定可能です。

PB CONT ボタンを押すと、設定した再生速度が有効なままホーム画面に戻ります。

再生速度が 1.0 倍より大きいときには **SPEED ▲**、1.0 倍より小さいときには **SPEED ▼** と表示されます。

7. 再生

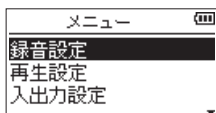
7-10. 再生音質を選択する

再生音を聴き取りやすくするために、お好みに合わせて音色を選択することができます(再生音質)。

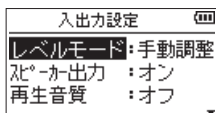
再生音質の設定は、入出力設定画面の再生音質項目、またはクイックメニュー画面の再生音質項目で行います。

メニュー画面からの操作

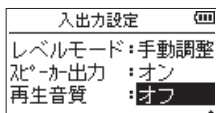
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って 入出力設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
入出力設定画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って 再生音質 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
4. + / - ボタンを使って再生音質の設定をします。
高域 で高域を、中域 で中域、低域 で低域が調節できることを示し、+ / - はその音域を上げるか下げるかを示します。



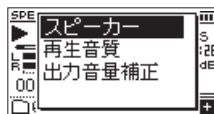
選択肢

- オフ (初期値)
- 高域 +
- 高域 -
- 中域 +
- 中域 -
- 低域 +
- 低域 -

5. 設定が終了したら、⏪/ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

クイックメニュー画面からの操作

1. ホーム画面で再生中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って 再生音質 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
再生音質設定画面が表示されます。



選択肢

- オフ (初期値)
- 高域 +
- 高域 -
- 中域 +
- 中域 -
- 低域 +
- 低域 -

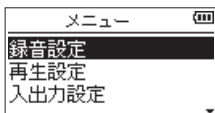
3. + / - ボタンを使って機能を選択し、▶ ボタンを押すと機能が有効になり、ホーム画面に戻ります。

7-11. 音圧感を上げて聴き取りやすくする (出力音量補正機能)

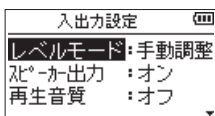
再生したときに小さくて聴き取りにくい音があるときなどに、全体の音圧感を上げて聴き取りやすくします (出力音量補正機能)。

メニュー画面からの操作

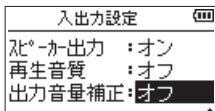
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って 入出力設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
入出力設定画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 出力音量補正 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って出力音量補正機能を設定します。



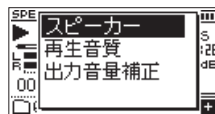
選択肢

- オフ (初期値)
- オン

5. 設定が終了したら、o/I (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

クイックメニュー画面からの操作

1. ホーム画面で再生中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って、出力音量補正 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
3. 出力音量補正設定画面が表示されます。



4. +/- ボタンを使って オン を選択し ▶ ボタンを押すと、出力音量補正機能がオンになります。
オフ を選択し ▶ ボタンを押すと、出力音量補正機能がオフになります。

メモ

再生音の素材によっては、効果が少ない場合があります (すでに音圧調整が行われている音楽ファイルなど)。

7. 再生

7-12. ジャンプ機能を使う

再生中に、現在の再生位置の戻る方向（バック）もしくは送る方向（フォワード）に、指定した時間分だけジャンプすることができます。

ジャンプ後の動作は、ジャンプ前の動作に従います。

先に送るジャンプフォワード機能は文字起こし再生モード、上書き録音モード、ファイル分割機能でのみ使用可能です。また、これらのとき、操作方法も異なります。

戻り時間は 戻り時間 の項目で、送り時間は 送り時間 の項目で、それぞれ指定できます。

	戻り時間	送り時間
選択肢	オフ	オフ
	1 秒	1 秒
	3 秒（初期値）	3 秒
	5 秒	5 秒
	10 秒	10 秒（初期値）
	30 秒	30 秒
	1 分	1 分
	5 分	5 分
	10 分	10 分

文字起こし再生モード、上書き録音モード、ファイル分割機能以外のとき

少し戻す（ジャンプバック）

再生中に ▶ ボタンを押すと、現在の位置から 戻り時間 で指定した時間分戻ります。

文字起こし再生モード、上書き録音モード、ファイル分割機能のとき

少し戻す（ジャンプバック）

再生中に ◀◀ ボタンを押すと、現在の位置から 戻り時間 で指定した時間分戻ります。

少し送る（ジャンプフォワード）

再生中に ▶▶ ボタンを押すと、現在の位置から 送り時間 で指定した時間分送ります。

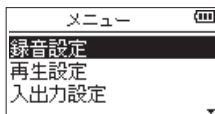
メモ

ファイルの先頭から現在の再生位置までの時間が 戻り時間 の設定値に満たない場合にジャンプバックしたとき、ファイルの先頭にジャンプします。また、現在の再生位置からファイルの最後までまでの時間が 送り時間 の設定値に満たない場合にジャンプフォワードしたとき、ファイルの最後に移動し、一時停止します。

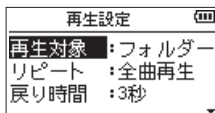
ジャンプバック機能の戻り時間を設定する

メニュー画面からの操作

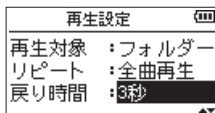
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って 再生設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
再生設定画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 戻り時間 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、ジャンプバック再生機能で戻る時間を設定します。



選択肢

- オフ
- 1 秒
- 3 秒 (初期値)
- 5 秒
- 10 秒
- 30 秒
- 1 分
- 5 分
- 10 分

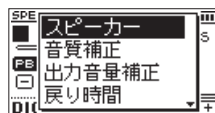
5. 設定が終了したら、0/1 (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

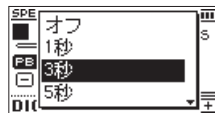
ファイルの先頭までの時間が設定値以下の場合は、ファイルの先頭に戻り、再生または一時停止します。

クイックメニュー画面からの操作

1. 本機の動作モードを文字起こしモードに切り換えます。(→ 79 ページ「文字起こし再生モードにする」)
2. 文字起こし再生モードで停止中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



3. +/- ボタンを使って 戻り時間 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
戻り時間設定画面が表示されます。



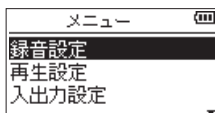
4. +/- ボタンを使って機能を選択し、▶ ボタンを押すと機能が有効になり、ホーム画面に戻ります。

7. 再生

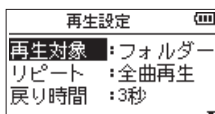
ジャンプフォワード機能の送り時間を設定する

メニュー画面からの操作

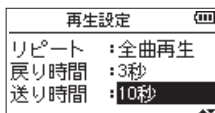
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って 再生設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
再生設定画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 送り時間 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、ジャンプフォワード再生機能で送る時間を設定します。



選択肢

オフ

1 秒

3 秒

5 秒

10 秒 (初期値)

30 秒

1 分

5 分

10 分

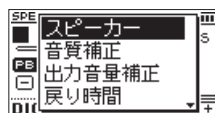
5. 設定が終了したら、0/1 (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

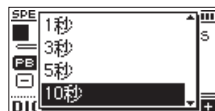
ファイルの最後まで時間が設定値以下の場合は、ファイルの最後に移動し、一時停止します。

クイックメニュー画面からの操作

1. 文字起こし再生モードで停止中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って 送り時間 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
送り時間設定画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って機能を選択し、▶ ボタンを押すと機能が有効になり、ホーム画面に戻ります。

8-1. QUICK ボタンの概要

QUICK ボタンを使うと、次のことができます。

表示画面、状態における QUICK ボタンの動作は、次のようになります。

表示画面	状態	メニュー項目	動作内容	参照先
ホーム画面	停止中 / 一時停止中	ファイル消去	現在のファイルを削除します。	→ 76 ページ
		ファイル分割	現在のファイルを分割します。	→ 77 ページ
		上書き録音	現在のファイルに上書き録音します。	→ 78 ページ
		文字起こし再生	文字起こし専用再生モードにします。	→ 79 ページ
	再生中	スピーカー	内蔵スピーカーのオン/オフを設定します。	→ 34 ページ
		再生音質	再生音質を設定します。	→ 70 ページ
		出力音量補正	全体の音圧感を上げて聴き取りやすくします。	→ 71 ページ
録音待機中	レベルモード	レベルモード機能を設定します。 32-bit float のときは表示されません。	→ 44 ページ	
	低域カット	低域カットフィルターを設定します。	→ 41 ページ	
	マイク左右切替	マイクの L / R を反転設定にします。	→ 37 ページ	
ホーム画面・文字起こし再生モード		スピーカー	内蔵スピーカーのオン/オフを設定します。	→ 34 ページ
		音質補正	音声帯域を補正し再生音の音声を聴き取りやすくします。	→ 79 ページ
		出力音量補正	全体の音圧感を上げて聴き取りやすくします。	→ 71 ページ
		戻り時間	ジャンプバック機能の戻り時間を設定します。	→ 73 ページ
		送り時間	ジャンプフォワード機能の送り時間を設定します。	→ 74 ページ
		モード終了	文字起こし再生モードを終了します。	→ 79 ページ
再生コントロール画面		スピーカー	内蔵スピーカーのオン/オフを設定します。	→ 34 ページ
		再生音質	再生音質を設定します。	→ 70 ページ
		出力音量補正	全体の音圧感を上げて聴き取りやすくします。	→ 71 ページ
ファイル / フォルダー画面	ファイル選択中	ファイル情報	選択したファイルのファイル情報を表示します。	→ 58 ページ
		リスト登録	選択したファイルを再生リストに登録します。	
		ファイル消去	選択したファイルを削除します。	
	フォルダー選択中	フォルダー選択	選択したフォルダー内の最初のファイルを選択します。	→ 59 ページ
		フォルダー内消去	選択したフォルダー内のファイルを一括で消去します。	
		フォルダー消去	選択したフォルダーとフォルダー内のファイルを消去します。	
再生リスト画面		移動	再生リストに登録したファイルの再生順を変更します。	→ 65 ページ
		登録解除	再生リストに登録したファイルを再生リスト画面から削除します。	
		全リスト消去	再生リストに登録した全ファイルを再生リスト画面から削除します。	
チューナー画面			基準周波数項目と入力レベル項目を切り換え	→ 87 ページ
上書き録音モード		録音開始点へ	上書き録音を開始地点へ移動します。	→ 78 ページ
		取り消し	上書き録音を1つ前の状態に戻します。	→ 78 ページ
		モード終了	上書き録音モードを終了します。	→ 78 ページ

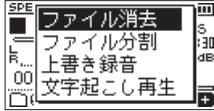
8. クイック操作

8-2. クイックメニュー画面

クイックメニューが使用できるとき、QUICK ボタンを押すと、クイックメニューが表示されます。

クイックメニューの内容は、レコーダーの状態や動作モードによって内容が変わります。

クイックメニューを閉じるには、QUICK ボタンまたは 0/1 (HOME) [■] ボタンを押します。

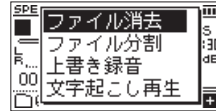


[停止中 / 一時停止中のクイックメニュー画面]

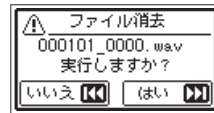
8-3. 選択ファイルを削除する

ファイル/フォルダー画面を使わずに、現在選択されているファイルを削除することができます。

1. ◀▶ / ▶▶ ボタン、もしくはファイル/フォルダー画面で、削除したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



3. + / - ボタンを使って、ファイル消去 項目を選択します。
4. ▶ ボタンを押すと、ファイルの削除の確認画面が表示されます。

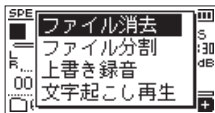


5. ▶▶ ボタンを押すとファイルが削除されます。
◀▶ ボタンを押すと削除が中止されます。

8-4. 選択ファイルを分割する (ファイル分割)

録音したファイルを任意の位置で、2つのファイルに分割することができます。

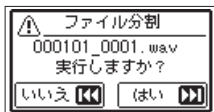
1. ◀▶ / ▶▶ ボタン、もしくはファイル/フォルダー画面で、分割したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



3. +/- ボタンを使って ファイル分割 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
ファイル分割画面が表示されます。



4. +/- ボタンを使って分割する位置を決定し、RECORD [●] ボタンを押します。
以下のポップアップメッセージが表示されます。



5. ▶▶ ボタンを押すと、ファイルが分割されます。
◀▶ ボタンを押すと、分割されずに ファイル分割画面に戻ります。

メモ

- ファイル分割 画面表示中に ▶ ボタンを押し、再生しながら位置を決めることもできます。
- ファイル分割 画面表示中は、▶ ボタンを押すたびに再生/一時停止を切り換え、◀▶ ボタンで曲の先頭に、▶▶ ボタンで曲の最後に移動します。+/- ボタンを押すと分割位置の微調整が行え、長く押すと連続移動できます。
- 分割すると、ファイル名の末尾に「_a」または「_b」が付加されたファイルが作成されます。

(例)

分割前のファイル名

000101_0001.wav

分割後のファイル名

000101_0001_a.wav (分割点より前の部分)

000101_0001_b.wav (分割点より後の部分)

注意

- MP3 ファイルは、分割できません。
- microSD カードの容量が少ない場合は、分割できない場合があります。
- ファイル名が 197 文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。

ヒント

録音中にあらかじめ分割したい位置にマークを付けておくことができます。マーク箇所へ移動した後、ファイル分割画面を表示することで、マーク箇所での分割ができます。(→ 84 ページ「手でマークを付ける」)

8. クイック操作

8-5. 上書き録音する（オーバーライト録音）

録音したファイルを任意の位置から上書き録音することができます。

上書き録音をするファイルを選択する

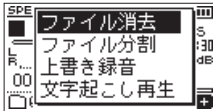
ファイル／フォルダー画面にて、上書き録音したいファイルを選択します。

メモ

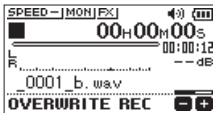
上書き録音モードでは、ファイルスキップによるファイル選択はできません。

上書き録音モードにする

1. ホーム画面で停止中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って 上書き録音 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
本機は、上書き録音モードに切り換わります。



3. ◀◀ / ▶▶ ボタン、もしくは ▶ ボタンを使い、上書き録音を開始する位置で停止します。
このとき ◀◀ / ▶▶ ボタンは、ジャンプ動作となります。（→72 ページ「ジャンプ機能を使う」）

上書き録音する

1. RECORD [●] ボタンを押します。
以下のポップアップメッセージが表示されます。



- ▶▶ ボタンを押すとポップアップメッセージが消え、録音待機状態になります。
2. 再度 RECORD [●] ボタンを押すと、上書き録音を開始します。
3. ◀/ (HOME) [■] ボタンを押すと、上書き録音を終了します。
終了すると、上書き録音を開始した位置に戻って停止します。

録音結果を確認する

録音したファイルを再生して確認します。

メモ

クイックメニューの 録音開始点へ 項目を選択すると、上書き録音を開始した位置に移動できます。

取り消す (UNDO) / やり直す (REDO)

上書き録音モードでは、上書き録音を取り消し (UNDO)、1つ前の状態に戻すことができます。また、取り消しをやり直す (REDO) こともできます。

注意

- 上書き録音を行ってもファイル名は変わりません。
- 上書き録音は何度でも可能ですが、上書き録音では直前のファイルしか保持されません。新たに上書き録音を行うと、2つ前のファイルは破棄されます。

上書き録音モードを終了する

ホーム画面で停止中にクイックメニューの中から「モード終了」を選択し、▶ ボタンを押します。
上書き録音モードを終了します。

注意

上書き録音モードを終了するとき、UNDO (REDO) ファイルは破棄されます。

8-6. 録音ファイルを書き起こす (文字起こし再生)

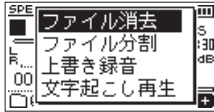
文字起こし再生モードでは、選択されたファイルの聴きたい部分を探しながら再生できるため、議事録などを書き起こすときに便利です。

文字起こし再生モードでは、誤って前後のファイルに移動してしまわないように、ファイルスキップ機能が無効となります。

文字起こし再生モードを有効にする前にファイルを選択してください。

文字起こし再生モードにする

1. ホーム画面で停止中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って文字起こし再生項目を選択し、▶ ボタンを押します。
本機は、文字起こし再生モードに切り換わります。



メモ

- 文字起こし再生モードでは、録音することはできません。
- 文字起こし再生モードでは、メニュー操作はできません。
- メニューを操作する場合は、一度文字起こし再生モードを終了してください。

再生音質の調節

クイックメニューで再生音の音声を聴き取りやすいように調節することができます。

音質補正

音声帯域を聴き取りやすいように補正します。

出力音声補正

全体の音圧感を上げて聴き取りやすくします。

再生位置の変更

◀◀ ボタンの短押し：ジャンプバック

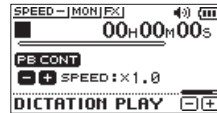
▶▶ ボタンの短押し：ジャンプフォワード

メモ

ジャンプバック、ジャンプフォワードの時間設定は、停止中のクイックメニューで設定することができます。

再生音量、再生スピードの変更

PB CONT ボタンを押すと、再生音量変更モードと再生スピード変更モードに切り換えることができます。



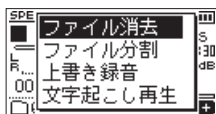
[再生スピード変更モード表示]

+/- ボタンを使って、再生音量/再生スピードを変更することができます。

8. クイック操作

文字起こし再生モードを終了する

1. ホーム画面で停止中に QUICK ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って モード終了 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
文字起こし再生モードを終了します。

メモ

- 文字起こし再生モードでは、録音することはできません。
- 文字起こし再生モードでは、メニュー操作はできません。
- メニューを操作する場合は、一度文字起こし再生モードを終了してください。

9. タイマー録音機能

設定した時間に起動して録音を開始／終了することができます。

タイマー録音機能を使用する前に、あらかじめ日時や録音設定、録音レベルなどの設定を行ってください。

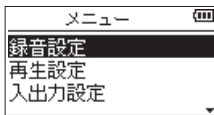
メモ

タイマー録音機能を有効にした場合、以下の機能は無効となります。

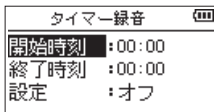
- 自動録音機能
- 事前録音機能
- 自動トーン機能
- 自動電源制御設定

9-1. タイマー録音の時刻を設定する

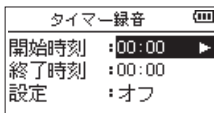
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って タイマー録音 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
タイマー録音 画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 開始時刻 項目または 終了時刻 項目を選択し、▶▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
設定時刻の右側に ▶ アイコンが表示されます。



4. ▶ ボタンを押すと、時刻設定画面が表示されます。



[開始時刻設定画面]

5. ◀◀ / ▶▶ ボタンでカーソルを移動し、+ / - ボタンで時または分を設定します。
6. 設定後、▶ ボタンを押して確定します。

注意

必ず ▶ ボタンを押して確定処理を行ってください。MENU ボタンや 冂 / (HOME) [■] ボタンを押すと、変更は破棄されます。

メモ

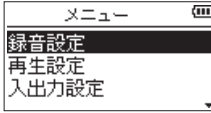
- 時間表示は、24 時間表示です。
- 時刻設定画面で、開始時刻および終了時刻の設定を「23」より大きくすると、時刻指定なし (---:-- 表示) とすることができます。

開始時刻を指定しない場合	タイマー録音を実行すると、すぐに録音を開始します。
終了時刻を指定しない場合	microSD カードが一杯になる、または電池が無くなるまで録音を続けます。

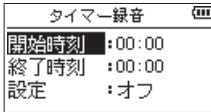
9. タイマー録音機能

9-2. タイマー録音機能をオンにする

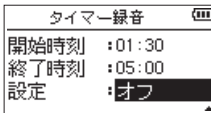
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



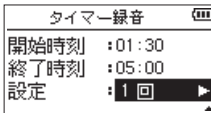
2. +/- ボタンを使って タイマー録音 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
タイマー録音 画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 設定 項目を選択し、▶▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。



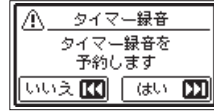
4. +/- ボタンを使って、動作を選択します。
設定を変更すると、選択肢の右側に ▶ アイコンが表示されます。



選択肢	内容
オフ	タイマー録音を実行しません。
1回	指定した時刻に1回だけタイマー録音を実行します。
毎日	指定した時刻に毎日タイマー録音を実行します。

メモ

- 開始時刻または終了時刻のどちらか一方が指定なしの場合は、選択肢は「オフ」または「1回」となります。
 - 開始時刻と終了時刻のどちらも指定しない場合は、タイマー録音は実行できません (--- 表示)。
5. ▶ ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

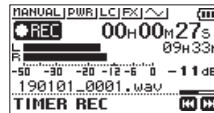


6. ▶▶▶ ボタンを押すと、タイマー録音を設定されて、シャットダウン処理を行います。

メモ

開始時刻が指定されていない場合は、すぐに録音を開始します。

指定した時刻になると起動して録音を開始します。タイマー録音中は、画面に **TIMER REC** と表示されます。



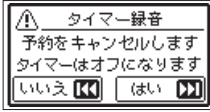
指定した時刻になると録音を終了して電源がオフになります。

メモ

- ホールドスイッチが矢印方向にセットされている場合は、ホールドを解除してから操作してください。
- タイマー録音を完了しても、開始時刻、終了時刻は保持されます。また、キャンセルした場合も、開始時刻、終了時刻は保持されます。

待機中にタイマー録音をキャンセルする場合

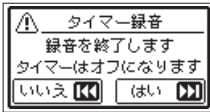
⓪/1 (HOME) [■] ボタンを押すと、電源が入って、確認メッセージが表示されます。



▶▶ ボタンを押すと、タイマー録音キャンセルされ、ホーム画面に戻ります。キャンセルすると、タイマー録音は「オフ」になります。

タイマー録音中に予約をキャンセルする場合

⓪/1 (HOME) [■] ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

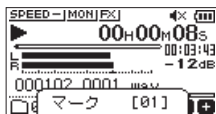


▶▶ ボタンを押すと、タイマー録音キャンセルされ、ホーム画面に戻ります。キャンセルすると、タイマー録音は「オフ」になります。

10. マーク機能

10-1. 手動でマークを付ける

録音一時停止中または録音中、再生中に MARK ボタンを押すと、任意の位置にマークを付けることができます。マークを付けるとディスプレイの下部にプルアップ表示されます。



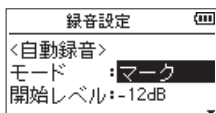
メモ

- マークは、ファイルごとに 01 ～ 99 まで設定でき、ファイルにマークの情報を記録します。
- 本機で録音した WAV ファイルは、BWF 形式に対応しているため、録音中に付けたマークの情報はファイルへ保存されます。BWF 対応ソフトなどで、このマーク情報を使用することができます。

10-2. 録音中に自動でマークを付ける

自動録音機能により自動でマークを付けるように設定することができます。

録音設定画面内 自動録音 設定の モード 項目を マーク に設定します。



詳細は、50 ページ「録音機能を自動で動作させる (自動録音)」を参照してください。

10-3. マークの位置へ移動する

停止中／一時停止中／再生中に、MARK ボタンを押しながら ◀◀ / ▶▶ ボタンを押すと、選択されているファイルに挿入されているマークの位置へ移動することができます。

頭出しのためのインデックスのように使用することができます。

メモ

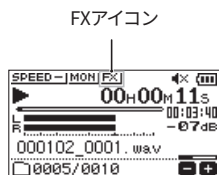
異なるファイルのマークへの移動はできません。

10-4. マークの削除

停止中または一時停止中にマークへ移動し、MARK ボタンを押すとマークを削除することができます。

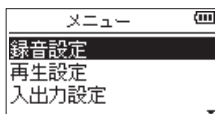
11.エフェクター

本機には、エフェクターが内蔵されています。
録音時や練習時、入力信号にエフェクトをかける、または再生時に再生信号にエフェクトをかけることもできます。
エフェクターがオンのときは、ホーム画面上部の **FX** アイコンが反転表示 (**FX**) します。

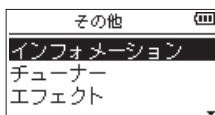


11-1. エフェクターを設定する

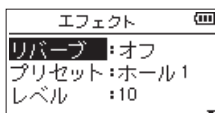
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使ってその他項目を選択し、▶ ボタンを押します。
その他画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使ってエフェクト項目を選択し、▶ ボタンを押します。
エフェクト画面が表示されます。



エフェクト画面には、4つの設定項目があります。
◀◀ / ▶▶ ボタン、および +/- ボタンを使って各項目の設定をします。

リバーブ

エフェクターのオン/オフ設定をします。
(初期値：オフ)

プリセット

使用するエフェクターをプリセットの中から設定します。エフェクターのプリセットの内容については、85ページ「エフェクターのプリセット一覧」をご覧ください。

レベル

プリセット項目で設定したエフェクターの出力レベルを変更することができます。設定範囲は、0～20です。
(初期値：10)

対象

エフェクトを入力信号（入力）にかけるか、出力信号（モニター）にかけるかを設定します。
(初期値：モニター)

4. +/- ボタンを使って希望の項目を選択し、▶▶ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
5. +/- ボタンを使って、希望の選択肢/値に設定します。
6. ◀◀ ボタンを押して、設定項目状態にします。
7. 設定が終了したら、⏪ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

注意

サンプリングレートを 96 kHz に設定しているとき、およびサンプリングレートが 96 kHz の WAV ファイルを再生した場合には、エフェクター機能は働きません。
このとき、エフェクターの設定をすることは可能です。

エフェクターのプリセット一覧

プリセットネーム	効果
ホール 1 (初期値)	ホールのような広い空間をイメージしたプライトなりバーブです。
ホール 2	ホールのような広い空間をイメージしたウォームなりバーブです。
ルーム	小さな室内の空間をイメージしたリバーブです。
スタジオ	スタジオのような空間をイメージしたリバーブです。
プレート 1	プライトなプレートリバーブです。
プレート 2	ウォームなプレートリバーブです。

12. 楽器をチューニングする (チューナー)

本機は、チューナーを内蔵しています。楽器の音を本機に入力することによって、ディスプレイのチューニングメーターを見ながら正確なチューニングができます。

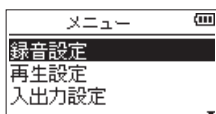
メモ

チューナー画面表示中に ▶ ボタンを押すと、画面の上下が反転します。

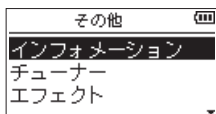
12-1. チューナーを使う

チューナーを設定する

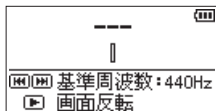
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って その他 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
その他画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って チューナー 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
チューナー画面が表示されます。

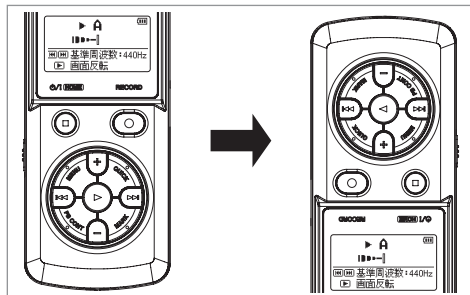


チューナー画面では、A (ラ) 音の基準周波数を設定する 基準周波数 項目があります。

◀◀ ボタンを押すと基準周波数の値が下がり、
▶▶ ボタンを押すと上がります。

設定範囲 : 435Hz ~ 445Hz (1Hz 単位)

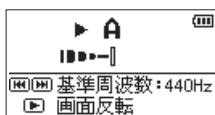
初期値 : 440Hz



12. 楽器をチューニングする (チューナー)

チューニングする

1. チューナー画面が表示されている状態で、チューニングする楽器の音を入力します。
もっとも近い音名がメーター上部に表示されます。
2. 合わせたい音名が表示されて、メーター中央部が点灯するようにチューニングします。
チューニングが低すぎる場合は左側、高すぎる場合は右側にバーが表示されます。ズレが大きいほど、バーが長く表示されます。

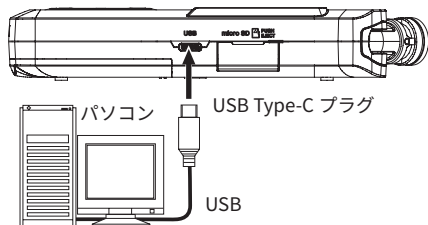


チューニングの入力レベルを調節する

1. チューナー画面が表示されている状態で QUICK ボタンを押します。
画面下の 基準周波数 項目が 入力レベル 項目に切り換わります。
2. ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、入力レベルを調節します。
調節中は、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレイの下部にプルアップ表示されます。
調節の方法は、入力の簡易調節 (→ 49 ページ「入力レベルを調節する」) と同様です。

13. USB 接続

本機をパソコンと市販の USB ケーブルで接続することにより、USB バスパワーにより電源を供給する、または SD カードリーダーや USB オーディオインターフェースとしての機能を使用することができます。



電源オンのとき

電池で動作中に、パソコンと本機を USB ケーブルで接続すると、USB 端子から電源が供給されます (USB バスパワー優先)。

メモ

AC アダプターを使用した場合も同じ操作となります。

注意

パソコンとの接続は、ハブを経由せずに直接接続してください。

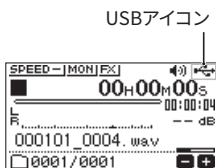
13-1. USB バスパワーにより電源を供給する

電源オフのとき

1. パソコンと本機を USB ケーブルで接続します。
2. 本機の電源をオンにします。
USB 接続 画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 電源供給 項目を選択し、
▶ ボタンを押します。
ホーム画面が表示されます。



13-2. SD カードリーダーとして使用する

本機をパソコンと USB ケーブルを接続し、SD カードリーダーとして使用することができます。

録音済みの音声ファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。

電源オフのとき

1. パソコンと本機を USB ケーブルで接続します。
2. 本機の電源をオンにします。
USB 接続 画面が表示されます。

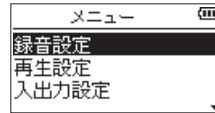


3. + / - ボタンを使って SD カードリーダー 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
SD カードリーダー 画面が表示されます。



電源オンのとき

1. 電池で動作中に、パソコンと本機を USB ケーブルで接続します。
2. MENU ボタンを押して、メニュー 画面を表示します。



3. + / - ボタンを使って USB 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
USB 接続 画面が表示されます。



4. + / - ボタンを使って SD カードリーダー 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
SD カードリーダー 画面が表示されます。



13. USB 接続

13-3. パソコンとの接続を解除する

パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、I◀◀ ボタンを押してください。

I◀◀ ボタンを押すと、接続を解除してホーム画面に戻ります。

13-4. パソコンからファイルを取り込む

1. パソコンのディスプレイ上の“DR-07XP”ドライブをクリックすると、“MUSIC”フォルダーと“UTILITY”フォルダーが表示されます。
2. パソコンの任意の音声ファイルを“MUSIC”フォルダーにドラッグ&ドロップします。

ヒント

- パソコン上の操作で、“MUSIC”フォルダー内を管理することができます。
- “MUSIC”フォルダー内にサブフォルダーを作成することができます。サブフォルダーは、2階層まで作成できます。本機では、3階層以下のサブフォルダーおよびファイルは認識できません。
- 本機では、フォルダー内のみを再生範囲に設定することもできますので、取り込む楽曲のカテゴリーや演奏者別に整理しておくとう便利です。
- サブフォルダーや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機のホーム画面上やファイル／フォルダー画面上に表示されます。

13-5. USB オーディオインターフェイスとして使用する

本機をパソコンと USB ケーブルを接続し、USB オーディオインターフェイスとして使用することができます。

注意

USB オーディオインターフェイスとして使用するときは録音はできません。

メモ

96 kHz のサンプリングレートには対応していません。

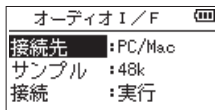
オーディオ I / F 画面を表示する

電源オフのとき

1. パソコンと本機を USB ケーブルで接続します。
2. 本機の電源をオンにします。
USB 接続 画面が表示されます。

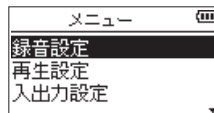


3. +/- ボタンを使ってオーディオ I / F 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
オーディオ I / F 画面が表示されます。



電源オンのとき

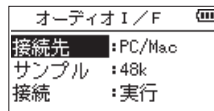
1. 電池で動作中に、パソコンと本機を USB ケーブルで接続します。
2. MENU ボタンを押して、メニュー 画面を表示します。



3. +/- ボタンを使って USB 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
USB 接続 画面が表示されます。



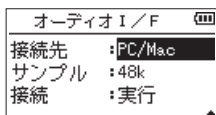
4. +/- ボタンを使ってオーディオ I / F 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
オーディオ I / F 画面が表示されます。



13. USB 接続

接続先を設定する

1. オーディオ I/F 画面で、+/- ボタンを使って接続先項目を選択し、▶ ボタンを押します。
2. +/- ボタンを使って、接続先を設定します。



選択肢

PC/Mac (初期値)

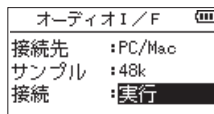
iOS

メモ

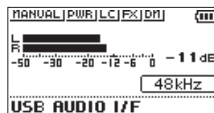
- Windows の場合は、DR-X シリーズ用 ASIO ドライバーを使用することができます。詳細は、本機の製品サポートサイトをご参照ください。
<https://tascam.jp/jp/product/dr-07xp/support>
- Mac の場合は、OS 標準ドライバーを使用するため、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。
- 接続先が iOS の場合は、本機は電池で動作します。
- iOS デバイスを接続する場合は、Lightning - USB カメラアダプタなどが必要です。

接続する

1. オーディオ I/F 画面で、+/- ボタンを使って接続項目を選択し、▶ ボタンを押します。
実行が反転表示します。

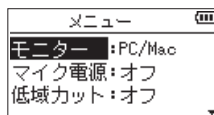


2. ▶ ボタンを押すと、オーディオ I/F モードになりホーム画面が表示されます。
オーディオ I/F モードのとき、画面には USB AUDIO I/F と表示されます。



メモ

オーディオ I/F モード中に MENU ボタンを押すと、以下の機能を使用することができます。



モニター

ダイレクトに設定するとマイク入力とパソコン出力音がミックスされて遅延のない入力モニターが可能です。

マイク電源

プラグインパワーを必要とする外部マイクを接続したとき、オンに設定します。

低域カット

入力信号への低域カットフィルターのカットオフ周波数を設定します。

エフェクト

エフェクト設定画面へ移動します。

接続解除

USB オーディオインターフェースモードの接続を解除します。

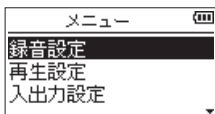
14. 各種設定および情報表示

14-1. 情報を見る（インフォメーション）

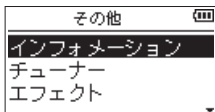
インフォメーション画面で、本機の各種情報を見ることができます。

以下の手順でインフォメーション画面を表示します。

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使ってその他項目を選択し、▶ ボタンを押します。
その他画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使ってインフォメーション項目を選択し、▶ ボタンを押します。

インフォメーション画面には、以下の3ページがあります。
+/- ボタンを使って、これらのページを切り換えることができます。

ファイル情報ページ (FILE)

現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示

カード情報ページ (CARD)

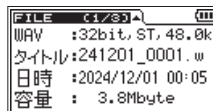
セットしている microSD カードの使用状況を表示

システム情報ページ (SYSTEM)

本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示

ファイル情報ページ (FILE)

FILE ページでは、現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示します。



WAV / MP3

オーディオファイルの形式を表示します。

WAV ファイルの場合は、ビット深度、ステレオ/モノラル、サンプリングレート (Hz) を表示します。

MP3 ファイルの場合は、ビットレート (kbps)、CBR / VBR、サンプリングレート (Hz) を表示します (CBR: 固定ビットレート、VBR: 可変ビットレート)。

TITLE

ファイル名を表示します。

MP3 ファイルで ID3 タグのタイトル情報がある場合は、その情報を表示します。

DATE

ファイルの日時を表示します。

SIZE

ファイルサイズを表示します。

14. 各種設定および情報表示

カード情報ページ (CARD)

CARD ページでは、挿入している microSD カードの使用状況を表示します。

CARD	
再生可能数	: 10
フォルダ数	: 2
全容量	: 3.7G
空き容量	: 3.6G

再生可能数

MUSIC フォルダ内にある再生可能なファイル数を表示します。

フォルダ数

MUSIC フォルダ内にあるフォルダ数を表示します。

全容量

microSD カードの総メモリー容量を表示します。

空き容量／使用容量

microSD カードの残容量／使用量を表示します。

◀ / ▶ ボタンを押すと、表示が 空き容量 と 使用容量 に交互に切り換わります。

CARD	
再生可能数	: 10
フォルダ数	: 2
全容量	: 3.7G
使用容量	: 57.8M

システム情報ページ (SYSTEM)

SYSTEM ページでは、本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示します。

SYSTEM	
自動電源制御	: 30分
バックライト	: 5秒
電池タイプ	: ALKAL
バージョン	: 1.00 002?

自動電源制御

電源のオートオフ設定を表示します。

バックライト

バックライトのオートオフ設定を表示します。

電池タイプ

使用する電池の種類の設定を表示します。

バージョン

システムファームウェアのバージョン情報を表示します。

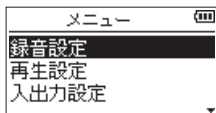
14-2. 環境設定 (システム設定)

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定、および本機の初期化や microSD カードの初期化などを、システム設定 画面で行います。

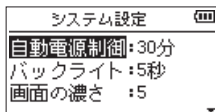
電源の自動電源制御設定

自動電源制御 項目で、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。

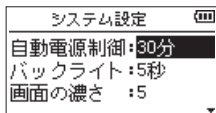
1. MENU ボタンを押して、メニュー 画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って システム設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
システム設定 画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 自動電源制御 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、時間を選択します。



選択肢

オフ (自動オフしない)

3 分

5 分

10 分

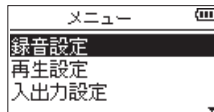
30 分 (初期値)

5. 設定が終了したら、⏪/ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

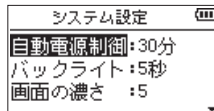
バックライトの設定

バックライト 項目で電池駆動のときに、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

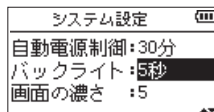
1. MENU ボタンを押して、メニュー 画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って システム設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
システム設定 画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って バックライト 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、時間を選択します。



選択肢

オフ (消灯)

5 秒 (初期値)

10 秒

15 秒

30 秒

常時 (常に点灯)

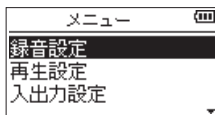
5. 設定が終了したら、⏪/ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

14. 各種設定および情報表示

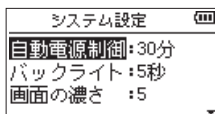
画面の濃さ調節

画面の濃さ項目でディスプレイのコントラストを調節します。

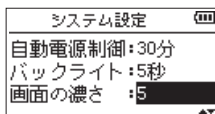
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って システム設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
システム設定画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 画面の濃さ 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、数値を選択します。



選択肢

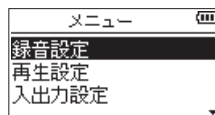
1 ~ 20 (初期値: 5)

5. 設定が終了したら、⏪/⏩ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

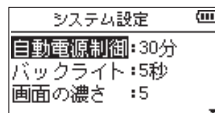
電池の種類の設定

電池タイプ項目で、使用する電池の種類を設定します。この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

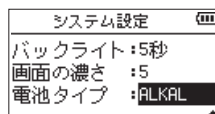
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って システム設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
システム設定画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 電池タイプ 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、種類を選択します。



選択肢

ALKAL (アルカリ乾電池、初期値)

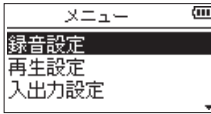
Ni-MH (ニッケル水素電池)

5. 設定が終了したら、⏪/⏩ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

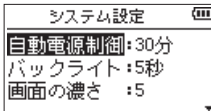
言語を設定する

言語 項目で、ディスプレイに表示される言語を切り換えることができます。

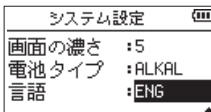
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って システム設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
システム設定 画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って 言語 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
4. +/- ボタンを使って、表示したい言語を選択します。



選択肢

ENG	: 英語で表示
日本語	: 日本語で表示
FRA	: フランス語で表示
ESP	: スペイン語で表示
DEU	: ドイツ語で表示
ITA	: イタリア語で表示
POR	: ポルトガル語で表示
RUS	: ロシア語で表示
中文	: 中国語で表示
한글	: 韓国語で表示

5. ▶ ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



6. ▶▶ ボタンを押して、言語設定を実行します。
実行しない場合は、◀◀ ボタンを押します。

実行すると言語表示が切り換わり、システム設定画面に戻ります。

7. 設定が終了したら、⏪ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

言語を間違えて設定してしまった場合

⏪ (HOME) [■] ボタンを押して電源をオフにした後、MENU ボタンを押しながら ⏪ (HOME) [■] ボタンを押してください。

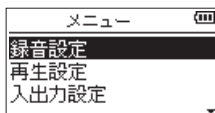
言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

14. 各種設定および情報表示

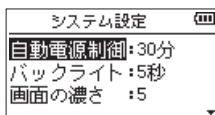
初期設定に戻す

設定初期化 項目で設定初期化を実行することにより、本機のさまざまな設定を初期設定状態に戻すことができます。

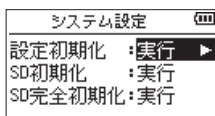
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



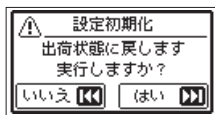
2. + / - ボタンを使って システム設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
システム設定画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って 設定初期化 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
実行が反転表示します。



4. ▶ ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



5. ▶▶ ボタンを押して、設定初期化 を実行します。
実行しない場合は、◀◀ ボタンを押します。

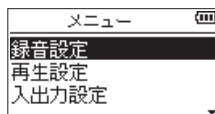
初期化が完了するとシステム設定画面に戻ります。

6. 〇/I (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

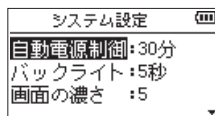
microSD カードを初期化する

SD 初期化 項目で、microSD カードを初期化します。
microSD カードの初期化を行うと、microSD カード上の全ての音楽ファイルが消去され、“MUSIC” フォルダ、“UTILITY” フォルダおよび“dr-1.sys” が自動生成されます。

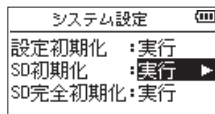
1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



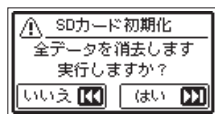
2. + / - ボタンを使って システム設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
システム設定画面が表示されます。



3. + / - ボタンを使って SD 初期化 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
実行が反転表示します。



4. ▶ ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



5. ▶▶ ボタンを押して、SD カード初期化 を実行します。
実行しない場合は、◀◀ ボタンを押します。

初期化が完了するとシステム設定画面に戻ります。

6. 〇/I (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

microSD カードを完全初期化する

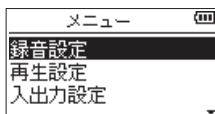
SD 完全初期化 項目で、microSD カードを完全初期化します。

microSD カードの完全初期化を行うと、microSD カード上の全ての音楽ファイルが消去され、“MUSIC”フォルダー、“UTILITY”フォルダーおよび“dr-1.sys”が自動生成されます。

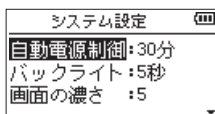
メモ

- SD 完全初期化 を実行すると、繰り返し使用で書き込み性能が劣化した microSD カードを復活させる可能性があります。
- SD 完全初期化 は、メモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを実行するため、SD 初期化 と比べて多くの時間がかかります。

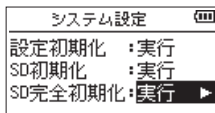
- MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



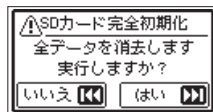
- +/- ボタンを使って システム設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
システム設定 画面が表示されます。



- +/- ボタンを使って SD 完全初期化 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
実行 が反転表示します。



- ▶ ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



- ▶▶ ボタンを押して、SD カード完全初期化 を実行します。
実行しない場合は、◀◀ ボタンを押します。
初期化が完了するとシステム設定画面に戻ります。
- ⏪/I (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

注意

microSD カードの初期化/完全初期化の実行は、電池の残量が十分な状態で行ってください。または別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) を使用するか、パソコンとの USB バスパワー接続状態で駆動しているときに行ってください。初期化中に本機の電源がオフになると、正常な初期化ができない場合があります。

14. 各種設定および情報表示

14-3. ファイル名の形式を設定する

本機で録音するファイルの名前の形式（タイプ）を設定することができます。

形式は、日付（YYMMDD形式）かワード（任意の6文字）のどちらかを設定します。

日付形式（初期値）

（例）110101_0000.wav

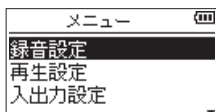
ワード形式

（例）DR0000_0000.wav

メモ

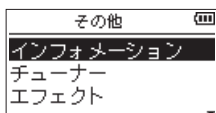
本機にはファイル名を変更する機能はありません。パソコンからファイル名の編集を行ってください。

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/- ボタンを使って その他 項目を選択し、▶ ボタンを押します。

その他画面が表示されます。



3. +/- ボタンを使って ファイル名設定 項目を選択し、▶ ボタンを押します。

ファイル名設定画面が表示されます。



4. ◀◀ / ▶▶ ボタン、および +/- ボタンを使って、各項目の設定をします。

この画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。

タイプ

ファイル名の形式をワードか日付かを設定します。

選択肢

日付（初期値）

ファイル名に日付（YYMMDD形式）を付けます。

（例）110101_0000.wav

日付は、本体内の時計をもとに設定されます。

（→ 32 ページ「日時を設定する」）

ワード

ファイル名に任意の文字列（6文字）を付けます。

文字列はワード項目で設定します。

ワード

タイプ項目でワードを設定した場合に、ファイル名に付ける文字列（6文字）を設定します。（初期値：TASCAM）

（例）DR0000_0000.wav

ワード項目で、◀◀ / ▶▶ ボタンでカーソルを移動し、+/- ボタンを使って文字を設定します。

使用可能文字は以下の通りです。

アルファベット	大文字、小文字
数字	0～9
記号	!#\$%&'()+,-.;=@[]^_`{ }~

5. 設定が終了したら、◀/1 (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

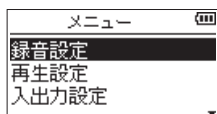
14-4. 二次元コードで取扱説明書のページにアクセスする

本機の画面に、取扱説明書を掲載しているウェブサイトの URL を二次元コードで表示することができます。お使いの機器で二次元コードを読み取ることで、ウェブサイト上のドキュメントページにアクセスすることができます。

メモ

インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

1. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. + / - ボタンを使って マニュアル 項目を選択し、▶ ボタンを押します。
ドキュメントページ画面が表示されます。



3. 画面の二次元コードをスマートフォンなどお使いの機器で読み取り、本機の取扱説明書のページにアクセスします。
4. MENU ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

15. メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

DR-07XP では、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
ファイル名が不正です	ファイル名の文字数が 197 文字以上の場合、ファイル分割ができません。パソコンと接続し、196 文字以下のファイル名に変更してください。
同名ファイルがあります	ファイル分割により作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内にすでに存在します。ファイル分割を行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。ファイル分割を行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
ファイルが見つかりません	再生リストに登録されているファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
動作対象外ファイル	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、105 ページ「録音再生形式」をご覧ください。
間隔が短すぎます	イン点（始点）とアウト点（終点）の間隔が短すぎます。1 秒以上空けて設定してください。
再生リストのファイルがありません	再生リストに登録されているファイルが見つかりません。MUSIC フォルダー内に対象のファイルがあるか確認してください。
再生リストがありません	再生リストにファイルが登録されていません。再生リストにファイルを登録するか、再生対象を「再生リスト」以外に設定してください。
再生リストがいっぱいです	再生リストがいっぱいです。再生リストには、最大 99 ファイルまで登録可能です。
MBR エラー SD を初期化します	microSD カードが正常に初期化されていないか、microSD カードが壊れている可能性があります。microSD カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ► ボタンを押すと、FAT 初期化が実行されます。 FAT 初期化が実行されると microSD カード内のデータは、全て消去されます。
フォーマットエラー SD を初期化します 実行しますか？	microSD カードが正常に初期化されていないか、microSD カードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB 接続したパソコンで FAT 初期化した場合や未初期化の microSD カードを挿入した場合にも表示されます。初期化は、必ず DR-07XP 本体で行ってください。microSD カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ► ボタンを押すと、FAT 初期化が実行されます。 FAT 初期化が実行されると microSD カード内のデータは、全て消去されます。
ファイルがありません システムを再構築します	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。このメッセージが表示されている状態で ► ボタンを押すと、システムファイルが作られます。
システムファイルエラー システムを再構築します	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。このメッセージが表示されている状態で ► ボタンを押すと、新しいシステムファイルが作られます。
SD カードエラー 交換してください	microSD カードが正常でない可能性があります。microSD カードを交換してください。
書き込みエラー 録音継続します	microSD カードの書き込みが間に合いませんでした。これにより音声の不連続になり、ノイズが発生します。不連続点にはマークが付けられます。
カード速度低下 BOF マーク要確認	microSD カードへの書き込み性能が低下しています。microSD カードへの書き込みが間に合わず、発生した不連続点にはマークが付いています。マーク付近の音声を確認してください。 SD 完全初期化を実行するか、microSD カードを交換してください。

メッセージ	内容と対処方法
カードがいっぱいです	microSD カードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
分割できません	ファイル分割の実行時に分割位置が適切ではありません (曲の先頭、曲の最後)。
録音時間の限界に到達	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。あるいはフォルダーとファイルの総数が制限値 (5000 個) の時に録音時間が 24 時間を超えました。
ファイル総数限界に到達	フォルダーとファイルの総数が制限値 (5000 個) を超えました。不要なフォルダーやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
カードエラー	microSD カードを正常に認識できません。microSD カードを交換してください。
MP3 非対応の機能です	MP3 ファイルの分割、上書き録音はできません。
ファイルが保護されています	リードオンリーファイルのため、削除できません。
カードがありません	microSD カードがセットされていません。
再生できるファイルがありません	再生可能なファイルがありません。ファイルが壊れている可能性があります。
ファイルがありません	再生ファイルがないため、ファイル分割およびオーバーダビングは実行できません。
オーバーダブできません 設定を確認してください	96 kHz の WAV ファイルを MP3 でオーバーダビングすることはできません。録音形式を WAV にしてください。 また、再生ファイルと異なるチャンネル設定の場合は、オーバーダビングすることはできません。チャンネル設定を確認してください。
取り消し 実行できません	取り消し用のデータが存在しないため、取り消しの実行ができません。
エラーが発生しました	<p>これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。 電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) を取り外す、または U S B バスパワー駆動時は U S B ケーブルを外してください。</p> <p>また、microSD カードを挿入し直すことで改善する場合があります。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店またはタスカムカスタマーサポートにご相談ください。</p>
ファイルエラー発生	
保存できません	
再生エラー	
機器エラー	
書き込みに失敗しました	
システムに問題が発生しました	
システムエラー 50	
システムエラー 1	
システムエラー 2	
システムエラー 3	
システムエラー 4	
システムエラー 5	
システムエラー 6	
システムエラー 7	
システムエラー 8	
システムエラー 9	

16.トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。

電源が入らない

- 電池が正しくセットされているか確認してください。
- HOLD スイッチがセットされていないか確認してください。

電源が自動的に切れてしまう

自動電源制御機能の設定を確認してください。自動的に電源が切れないようにするには、「オフ」に設定してください。(→95 ページ「電源の自動電源制御設定」)

microSD カードを認識しない

microSD カードがしっかりと挿入されているか確認してください。

音が出ない／スピーカーから音が出ない

- 出力音量が下がり過ぎていないか確認してください。
- スピーカー設定がオンになっていることを確認してください。スピーカー設定がオンになっていても、以下の場合はスピーカーから音は出ません。
 - ヘッドホンを接続している
 - 録音中／録音待機中
 - オーバーダビングモードのとき (→48 ページ「オーバーダビングモードにする」)

録音ができない

- REC インジケーターが点灯していることを確認してください。REC インジケーターが点滅しているときは録音待機中です。
- 録音画面に表示されている残りの録音可能時間を確認してください。

録音した音が小さい／歪んでいる

入力レベルの設定を確認してください。

32-bit float で録音したのに再生すると歪んでいる

- 再生時に 0 dB を超えるときは、パソコンの編集ソフトなどで調整してください。
- 録音時に過大入力により入力部で歪んだときは、レベルを調整しても歪んだままとなります。
- 本機には録音後にレベルを調整する機能はありません。パソコンの編集ソフトなどで調整してください。

USB ケーブルでパソコンに接続しても認識されない

- データ通信が可能な USB ケーブルをご使用ください。
- 接続しているパソコンが対応 OS かどうか確認してください。
- 本機をパソコンに認識させるには、使用する USB 機能をメニュー選択する必要があります。
- 充電専用の USB ケーブルでないことを確認してください。
- USB ハブを経由していないことを確認してください。

USB オーディオインターフェースモードで音切れやノイズが発生する

[Windows の場合]

- パフォーマンスオプション
「パフォーマンスを優先する」を選択してください。
- 電源オプション
「高パフォーマンス」を選択してください。
- DR-X シリーズ用 ASIO ドライバーをご使用ください。詳細は、本機の製品サポートサイトをご参照ください。
<https://tascam.jp/jp/product/dr-07xp/support>
- サンプリングレートを使用する録音アプリに合わせて選択してください。

言語を間違えて設定してしまった

⏪ (HOME) [■] ボタンを押して電源をオフにした後、MENU ボタンを押しながら ⏪ (HOME) [■] ボタンを押してください。
言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

17-1. 定格

記録メディア

microSD カード
 microSDHC カード
 microSDXC カード (最大 512GB)

録音再生形式

WAV

サンプリングレート

44.1/48/96 kHz

量子化ビット深度

16-bit/24-bit/32-bit float

MP3

サンプリングレート

44.1/48 kHz

ビットレート

32/64/96/128/192/256/320 kbps

チャンネル数

入力チャンネル数

2 (ステレオ)

録音トラック数

2 (ステレオ)

17-2. 入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

MIC/EXT IN 端子 (プラグインパワー対応)

コネクタ

1/8" (3.5 mm) ステレオミニジャック

入力インピーダンス

18 k Ω 以上 (プラグインパワーオフ時)2 k Ω 以上 (プラグインパワーオン時)

基準入力レベル

- 20 dBV

最大入力レベル

- 4 dBV

 Ω /LINE OUT 端子

コネクタ

1/8" (3.5 mm) ステレオミニジャック

出力インピーダンス

12 Ω

基準出力レベル

- 14 dBV (10 k Ω 負荷時)

最大出力レベル

+2 dBV (10 k Ω 負荷時)

最大出力

20 mW + 20 mW (32 Ω 負荷時)

推奨ヘッドフォンインピーダンス

16 ~ 250 Ω

内蔵スピーカー

0.3 W (モノラル)

注) 0 dBV=1 Vrms, 0 dBu=0.775 Vrms

17. 仕様

コントロール入出力定格

USB

コネクタ

Type-C

フォーマット

USB2.0 HIGH SPEED マスストレージクラス

USB1.1 FULL SPEED オーディオクラス

USB オーディオ

サンプリングレート

44.1/48 kHz

量子化ビット深度

24-bit

入力数

2 チャンネル

出力数

2 チャンネル

17-3. オーディオ性能

周波数特性

20 Hz – 20 kHz +0/ – 1 dB

(MIC/EXT IN to LINE OUT、Fs 44.1 kHz、JEITA)

20 Hz – 22 kHz +0/ – 1 dB

(MIC/EXT IN to LINE OUT、Fs 48 kHz、JEITA)

20 Hz – 40 kHz +0/ – 1.5 dB

(MIC/EXT IN to LINE OUT、Fs 96 kHz、JEITA)

全高調波歪率 (THD+N)

0.01% 以下

(MIC/EXT IN to LINE OUT、Fs 44.1/48/96 kHz、JEITA)

注) JEITA : JEITA CP-2150 準拠

17-4. 一般

電源

単 3 形電池 2 本 (アルカリ乾電池またはニッケル水素電池、別売)

パソコンからの USB バスパワー 5 V/0.5 A

専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U、別売) : DC 5 V/2 A

消費電力

1.7 W (最大時)

電池持続時間（連続使用時）

● アルカリ乾電池（EVOLTA）使用時

録音／再生	録音形式	持続時間	備考
録音時	WAV、96 kHz、32 ビットフローティング	約 14.5 時間	内蔵ステレオマイク入力時
	WAV、96 kHz、24 ビット	約 15.5 時間	内蔵ステレオマイク入力時
	WAV、44.1 kHz、16 ビット	約 17.5 時間	内蔵ステレオマイク入力時
	MP3、44.1 kHz、128 kbps	約 13 時間	内蔵ステレオマイク入力時
	MP3、48 kHz、320 kbps	約 11 時間	内蔵ステレオマイク入力時
再生時	WAV、96 kHz、32 ビットフローティング	約 11 時間	ヘッドホン使用時
		約 11 時間	内蔵スピーカー使用時
	WAV、96 kHz、24 ビット	約 14 時間	ヘッドホン使用時
		約 14 時間	内蔵スピーカー使用時
	WAV、44.1 kHz、16 ビット	約 16.5 時間	ヘッドホン使用時
		約 16.5 時間	内蔵スピーカー使用時
	MP3、44.1 kHz、128 kbps	約 16.5 時間	ヘッドホン使用時
		約 16.5 時間	内蔵スピーカー使用時
	MP3、48 kHz、320 kbps	約 15.5 時間	ヘッドホン使用時
		約 15.5 時間	内蔵スピーカー使用時

録音時：JEITA 録音時、再生時：JEITA 音楽再生時

● ニッケル水素電池（eneloop）使用時

録音／再生	録音形式	持続時間	備考
録音時	WAV、96 kHz、32 ビットフローティング	約 11.5 時間	内蔵ステレオマイク入力時
	WAV、96 kHz、24 ビット	約 12.5 時間	内蔵ステレオマイク入力時
	WAV、44.1 kHz、16 ビット	約 14.5 時間	内蔵ステレオマイク入力時
	MP3、44.1 kHz、128 kbps	約 13 時間	内蔵ステレオマイク入力時
	MP3、48 kHz、320 kbps	約 10 時間	内蔵ステレオマイク入力時
再生時	WAV、96 kHz、32 ビットフローティング	約 10 時間	ヘッドホン使用時
		約 10 時間	内蔵スピーカー使用時
	WAV、96 kHz、24 ビット	約 13 時間	ヘッドホン使用時
		約 12 時間	内蔵スピーカー使用時
	WAV、44.1 kHz、16 ビット	約 14 時間	ヘッドホン使用時
		約 15 時間	内蔵スピーカー使用時
	MP3、44.1 kHz、128 kbps	約 13.5 時間	ヘッドホン使用時
		約 13 時間	内蔵スピーカー使用時
	MP3、48 kHz、320 kbps	約 13.5 時間	ヘッドホン使用時
		約 13 時間	内蔵スピーカー使用時

録音時：JEITA 録音時、再生時：JEITA 音楽再生時

メモ

電池持続時間（連続動作時）は、お使いの記録メディアにより記載された値から変動することがあります。

17. 仕様

外形寸法

68 x 159.6 x 27 mm (幅 x 高さ x 奥行き、マイク閉状態)

90.3 x 159.6 x 27 mm (幅 x 高さ x 奥行き、マイク開状態)

質量

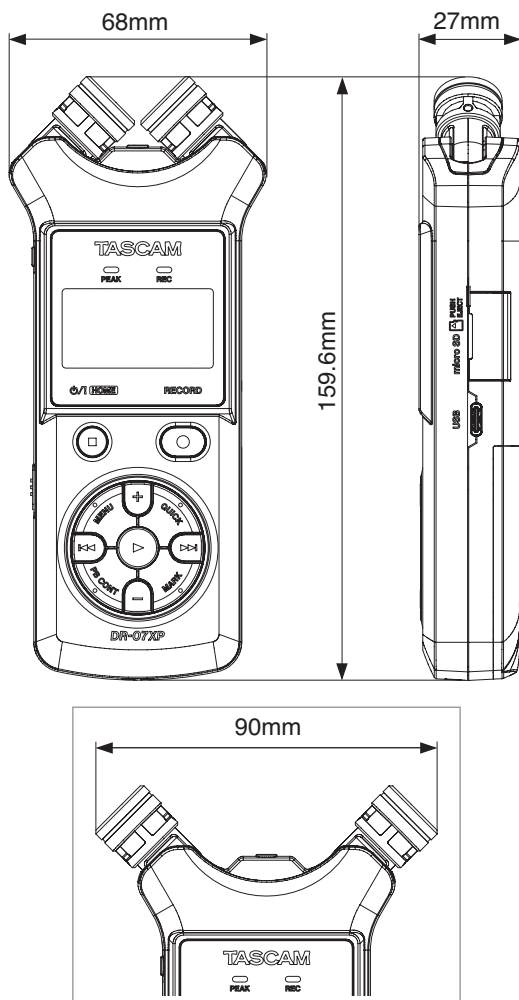
184 g / 136 g (電池を含む / 電池を含まず)

動作温度

0 ~ 40°C

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

17-5. 寸法図



[マイク開状態の寸法]

18. FW バージョンアップによる変更内容

18-1. ファームウェア V1.10 について

ファームウェア V1.10 では、以下の機能が追加・変更されています。

録音開始動作選択機能 (録音スタート)

RECORD [●] ボタンを押した際の録音開始動作を 2 種類から選択できるようになりました。
使用環境や操作スタイルに応じて設定してください。

即時

起動直後から入力モニターが行えるようになり、RECORD [●] ボタンを一度押すと、ただちに録音を開始します。

ヒント

以下のような用途に適しています。

- 操作を簡単にしたい場合
- すぐに録音を開始したい場合
- 会議やメモ録音など、即時性を重視する場合

RECORD [●] ボタンを押すとただちに録音が始まるため、音量や入力状態は事前に十分確認してから操作してください。

待機あり

停止中に RECORD [●] ボタンを一度押すと入力モニターが行えるようになります。再度 RECORD [●] ボタンを押すと、録音を開始します。

ヒント

以下のような用途に適しています。

- マイクの音量や音質を確認してから録音したい場合
 - 歌や演奏など、録音前の準備が必要な場合
 - 従来通りの録音開始動作 (V1.01 まで) をしたい場合
- 最初の RECORD [●] ボタン操作では録音は開始されませんので、ご注意ください。

録音開始動作の設定方法

メニュー > 録音設定 > 録音スタート
選択肢

即時 (初期値)

待機あり

即時選択時の再生動作

録音スタート項目で 即時 を選択している場合、録音停止中に ▶ ボタンを押すとファイル/フォルダー画面が表示されます。


ファイル/フォルダー画面では、以下のどちらかのファイルが選択 (反転表示) されます。


- 最後に録音されたファイル
- 最後に再生されたファイル




▶ ボタンを押すと、選択されているファイルが再生されません。

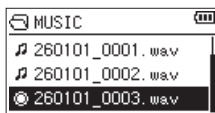
18. FW バージョンアップによる変更内容


最新録音ファイル表示

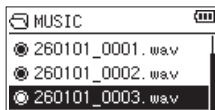
ファイル／フォルダー画面では、最後に録音されたファイルの先頭に  アイコンが表示されます。

その他のファイルには  アイコンが表示されます。

表示	内容
	最新録音ファイル  アイコンは、新たな録音が行われるか電源をオフにするまで表示されます。
	最新ではない録音ファイル






また、トラックインクリメントにより1回の録音で複数のファイルが作成された場合は、新たに作成されたすべてのファイルに  アイコンが表示されます。



録音状態表示アイコン

録音状態に応じて、以下のアイコンが表示されます。

表示	内容
	録音待機
	録音中
	録音一時停止

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話話・IP 電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話話・IP 電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。